



長崎大学病院
医療教育開発センター

平成26年度 報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

目次

(1) 医学生のために		
1) 広報		
① ホームページ	P. 3
② ブログ	P. 4
③ キャリアの軌跡	P. 5
④ 合同説明会	P. 6
⑤ 見学者数推移	P. 8
2) 在宅実習	P. 9
(2) 医科 初期研修のために		
1) 研修医数推移 (マッチング)	P. 10
2) 研修プログラム	P. 12
3) ポートフォリオ	P. 14
4) グラウンドラウンド	P. 16
5) 短期海外研修 (ハワイ大学)	P. 18
6) 英会話教室	P. 20
7) セミナー		
① 実力アップセミナー	P. 21
② 災害研修セミナー	P. 27
8) 外来研修	P. 29
9) 救急医療教育室	P. 31
(3) 医科 後期研修のために		
1) 入局者推移	P. 33
2) コース別登録者数の推移	P. 34
3) コース登録者の認定医・専門医取得状況	P. 35
4) 医療再生基金事業	P. 36
(4) 医科 指導医のために		
1) 指導医講習会	P. 37
2) 医療再生基金事業	P. 37
(5) 歯科 初期研修のために		
1) 研修医数推移	P. 38
2) 研修プログラム	P. 39

(6) 歯科 後期研修のために	
1) 研修医数推移	．．．．． P. 40
(7) 看護師のために	
1) 合同研修（オリエンテーション）	．．．．． P. 41
(8) 薬剤師のために	
1) フィジカルアセスメント	．．．．． P. 42
2) フィジカルアセスメントショートコース	．．．．． P. 43
(9) 採用者オリエンテーション	
1) 新規採用者オリエンテーション	．．．．． P. 44
2) 中途採用者オリエンテーション	．．．．． P. 45
(10) シミュレーションセンター	
1) 利用者数・職種別利用者数	．．．．． P. 46
2) 教育プログラム	．．．．． P. 47
3) 新しく購入した物品	．．．．． P. 49
(11) その他	
1) キッズセミナー	．．．．． P. 50
スタッフ名簿	．．．．． P. 51

(1) 医学生のために

(マッチング関連のための情報を提供しています)

1) 広報

① ホームページ

ホームページとブログをそれぞれ運営。ホームページは週に1度、ブログは毎日2～3回更新しており、医学生や研修医に向けて常に新しい情報を発信している。

■ホームページ <http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/>



←
トップページ

■内容

初期臨床研修や後期臨床研修の募集についてのほか、病院見学の案内、当センター主催のイベント告知&開催実績など。研修医獲得に向けた情報のすべてをここで確認できる。



←
初期臨床研修の募集
についての掲載ページ



←
当センター主催イベント告知のページ



←
見学者の感想を掲載

■ホームページのアクセス数 年度推移

年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
合計	3,142	19,803	19,994	※33,992	41,208	52,608	55,499

※平成23年5月より、初期研修部門などのHPと合併。医療教育開発センターのHPとしてリニューアル。

② ブログ

■アドレス

<http://careerngs.exblog.jp/>

■内容

初期研修医の日々の研修風景を掲載。全国の医学生に長崎大学病院での研修を身近に感じてもらえるように情報発信している。また、当センター主催のイベント告知にも活用。



■ブログのアクセス数 年度推移

年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
計	4,346	44,545	101,649	※89,051	75,736	76,420	76,040

※平成24年2月より、PCアクセスのみのカウント（モバイルからのアクセス数は含まない）。

長崎大学病院が関連するニュースやイベント情報について、ホームページとブログで連動しながら発信している。

ホームページの左下にブログのアイコンがある。

③ キャリアの軌跡

大学生や後期研修先を探している研修医に向けて、定期的にミニコミ紙を発行している。長崎大学病院の研修プログラムの特色や環境についてのほか、研修医の活躍、各種セミナーの開催模様などを掲載。長崎大学病院の魅力を伝えるための宣伝ツールに活用している

平成26年度発行一覧

発行回数8回

第43号(平成26年4月11日発行)
「全国1位の松田真和先生インタビュー うちの病院のここがおすすめ!」



第44号(平成26年7月7日発行)
「だから長大病院を選びました!!!」



第45号(平成26年7月10日発行)
「長大病院の魅力は他大学出身の研修医に聞け!!!」



第46号(平成26年10月10日発行)
「長大病院初期研修医のためのハワイ研修2014」



第47号(平成26年11月14日発行)
「長崎大学病院 初期研修プログラム 家庭医・総合医コースに入ろう!」



第48号(平成26年12月19日発行)
「祈願、全員合格!!! 国試応援号」



第49号(平成27年2月24日発行)
「長崎の研修病院、ココがウリ!!!」



第50号(平成27年3月2日発行)
「5大教育イベントでがっちり実力を付ける」



↑当センターHPでも『キャリアの軌跡』のページを設けています。

④ 初期研修合同説明会・レジナビフェア説明会

長崎県臨床研修協議会（新・鳴滝塾）主催の、「オール長崎 初期研修合同説明会」と民間医局主催のレジナビフェアに長崎大学病院も参加し、県内外の学生へ初期研修プログラムについて説明した。

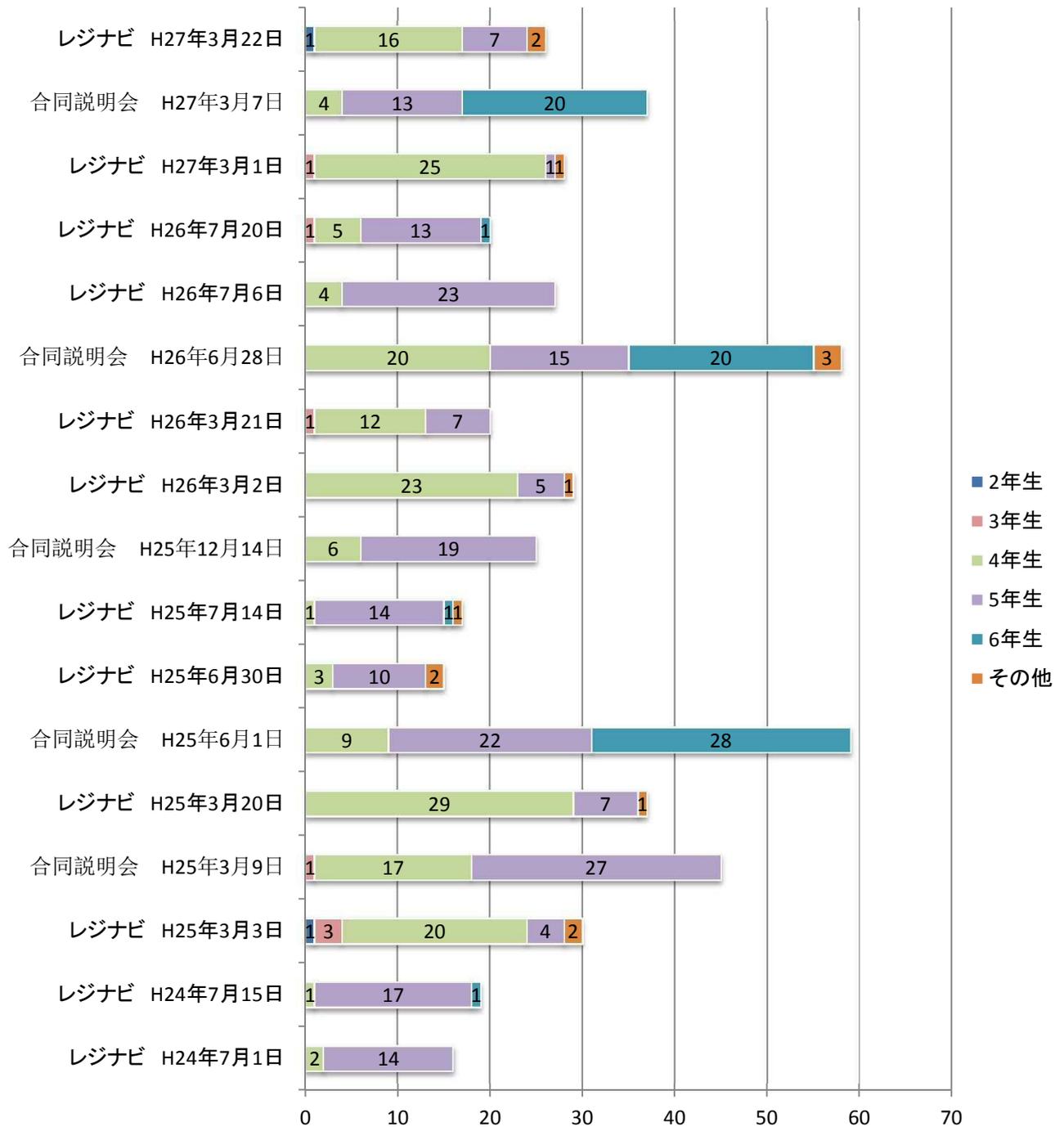
■長崎県合同説明会

	<p>【日時】平成26年3月9日（土） 13：00～17：30 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（3、4、5年生） 【ブース参加】長崎県内17研修病院 【参加学生数】23名</p>
	<p>【日時】平成26年6月28日（土） 10：00～13：00 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（4、5、6年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】58名</p>
	<p>【日時】平成27年3月7日（土） 10：00～13：00 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（3、4、5年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】37名</p>

■その他説明会

<p>レジナビフェア2014 in 福岡</p>	<p>【日時】平成26年3月2日（日） 10：00～17：00 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】29名</p>
<p>レジナビフェア スプリング 2014 in 東京</p>	<p>【日時】平成26年3月21日（金） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】20名</p>
<p>レジナビフェア2014 in 大阪</p>	<p>【日時】平成26年7月6日（日） 10：00～17：00 【場所】インテックス大阪 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】27名</p>
<p>レジナビフェア2014 in 東京</p>	<p>【日時】平成26年7月20日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】20名</p>
<p>レジナビフェア2015 in 福岡</p>	<p>【日時】平成27年3月1日（日） 10：00～17：00 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】28名</p>
<p>レジナビフェア スプリング 2015 in 東京</p>	<p>【日時】平成27年3月22日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】26名</p>

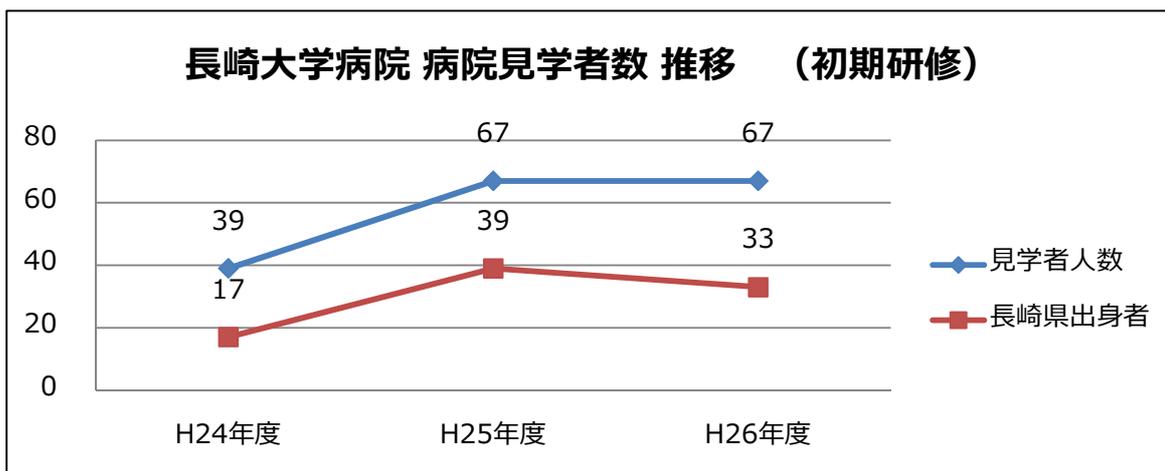
説明会 参加学生数



合同説明会の様子

⑤ 病院見学

■病院見学者数推移



■大学別病院見学者数

大学名	見学者数			総計
	H24年度	H25年度	H26年度	
佐賀大学	3	9	17	29
福岡大学	3	6	5	14
鹿児島大学	5	3	3	11
富山大学	1	4	6	11
久留米大学	3	2	5	10
大分大学	1	4	4	9
山口大学	1	1	7	9
宮崎大学		3	2	5
北海道大学	2	3		5
藤田保健衛生大学	2	2	1	5
琉球大学	1	2	1	4
島根大学	2		1	3
日本大学	1	2		3
熊本大学	1	1	1	3
岩手医科大学	1	2		3
産業医科大学		2	1	3
東京医科歯科大学		1	2	3
福島県立医科大学		3		3
愛知医科大学	1		1	2
金沢医科大学	2			2
香川大学		1	1	2
山梨大学		2		2
昭和大学		1	1	2
関西医科大学		1	1	2
近畿大学	1		1	2
秋田大学		1	1	2
川崎医科大学	1	1		2
鳥取大学	1	1		2
東京女子医科大学		1	1	2
東京医科大学	1	1		2
信州大学	1			1
愛媛大学	1			1
群馬大学	1			1
新潟大学	1			1
大阪医科大学		1		1
徳島大学		1		1
旭川医科大学		1		1
韓国国立釜山大学		1		1
京都府立医科大学		1		1
弘前大学		1		1
山形大学		1		1
名古屋大学	1			1
岐阜大学			1	1
奈良県立医科大学			1	1
福井大学			1	1
東邦大学			1	1
総計	39	67	67	173

2) 在宅実習

毎週金曜日（もしくは火曜日）にポリクリ実習の一環として**在宅医療実習**を行っている。救命救急センターで実習中の長崎大学医学部の5年生が在宅診療（患者数4～5名）に同行し、実際の在宅医療を学ぶ。

<在宅医療実習の流れ>

タクシーで出発



実習内容の詳細を説明



患者さん宅へ



学生が診察

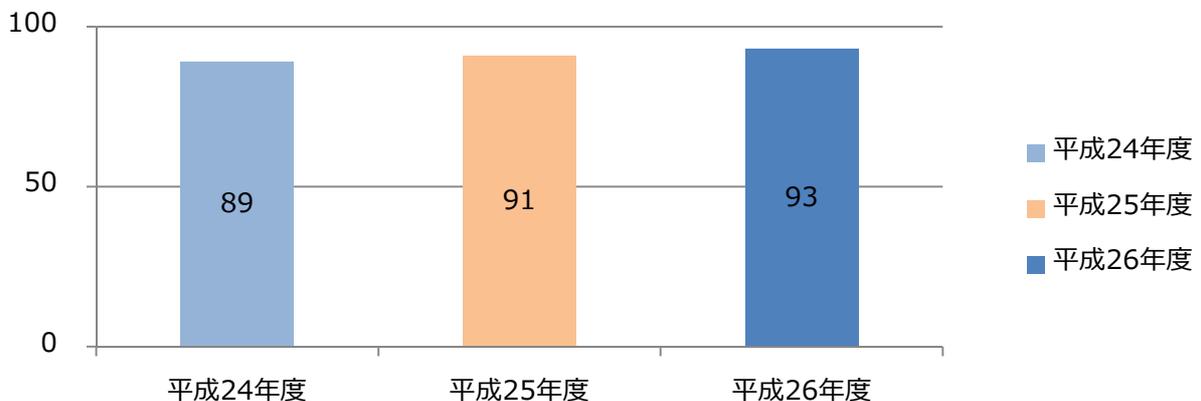


指導医が診察



指導

実習学生数



実習後の感想

- ・在宅医療の実習では、短時間でいろいろな場所へ行き、多くの患者さんを見るということで、短時間で患者さんの様子を把握する難しさを感じた。長崎のような土地では医療難民となっている方も多く、一人で住むお年寄りも多いので、こういった在宅医療の重要性を感じた。
- ・往診実習は初めての体験で、大変勉強になりました。限られた時間の中で、患者さんの全体全身を診る難しさを知りました。長崎という地での在宅医療の重要性を知るとても有意義な体験でした。
- ・訪問医療もとても楽しかったです。救急とセットになっていますが、慢性と急性、全く違うものをみれたと思います。

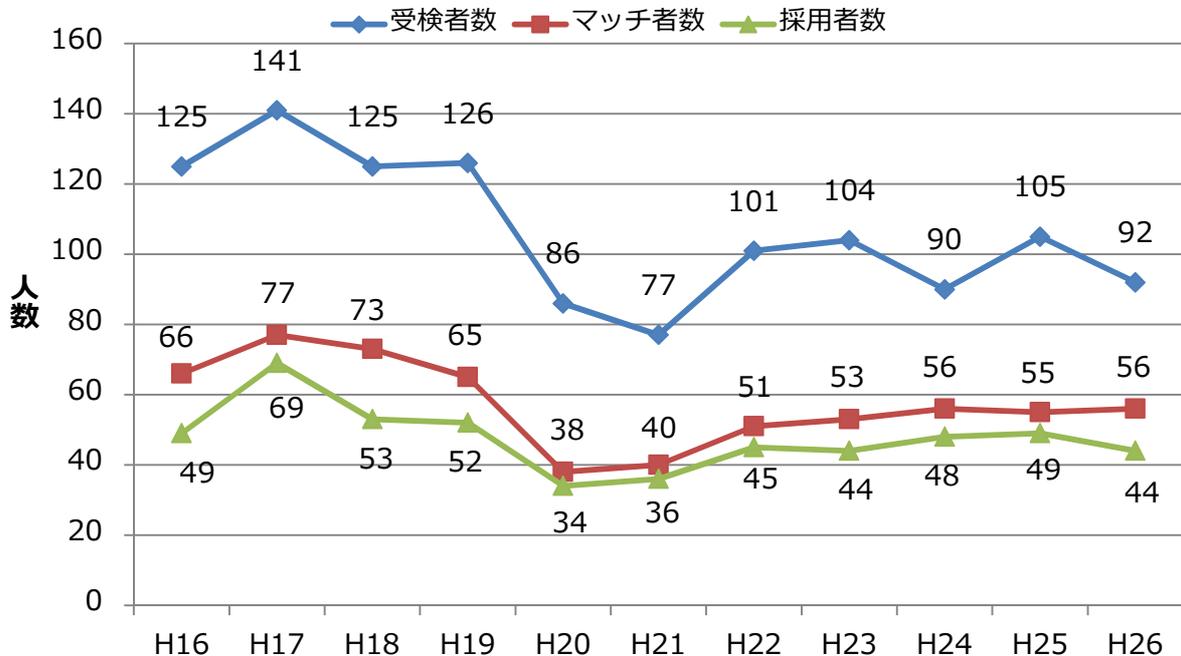
(2) 医科 初期臨床研修のために

(学習プログラムなどの整備を行っています)

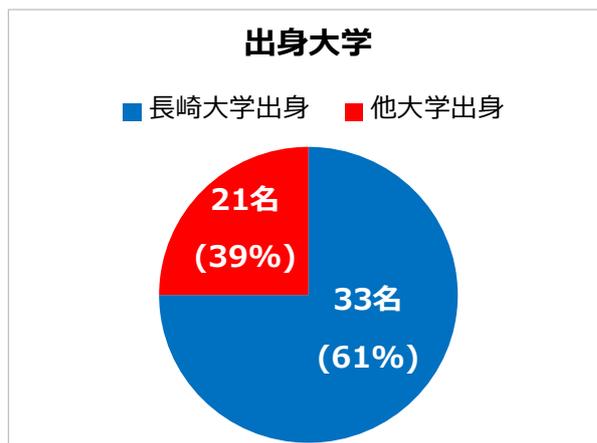
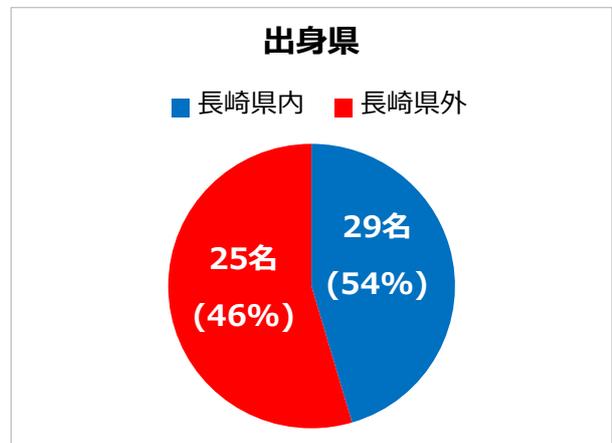
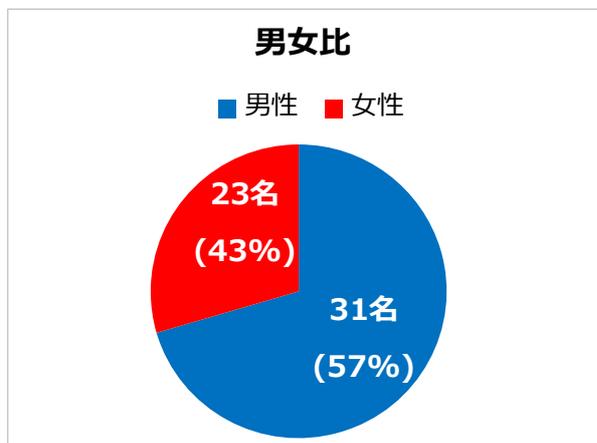
1) 研修医数推移 (マッチング)

■ 受験者数、マッチ者数、採用者数の推移

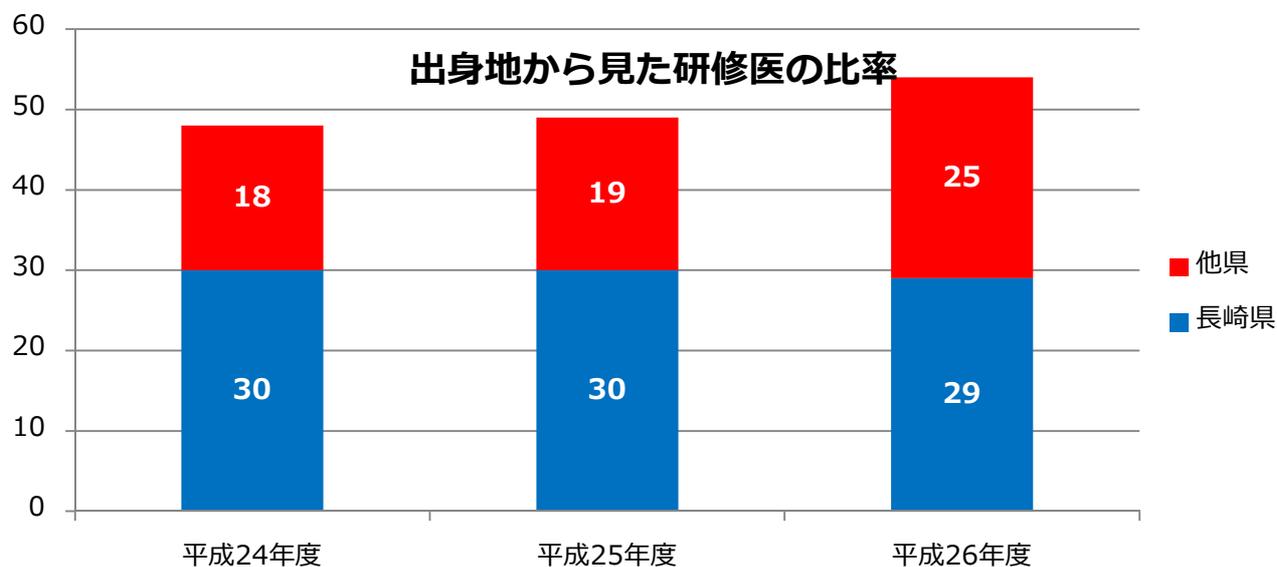
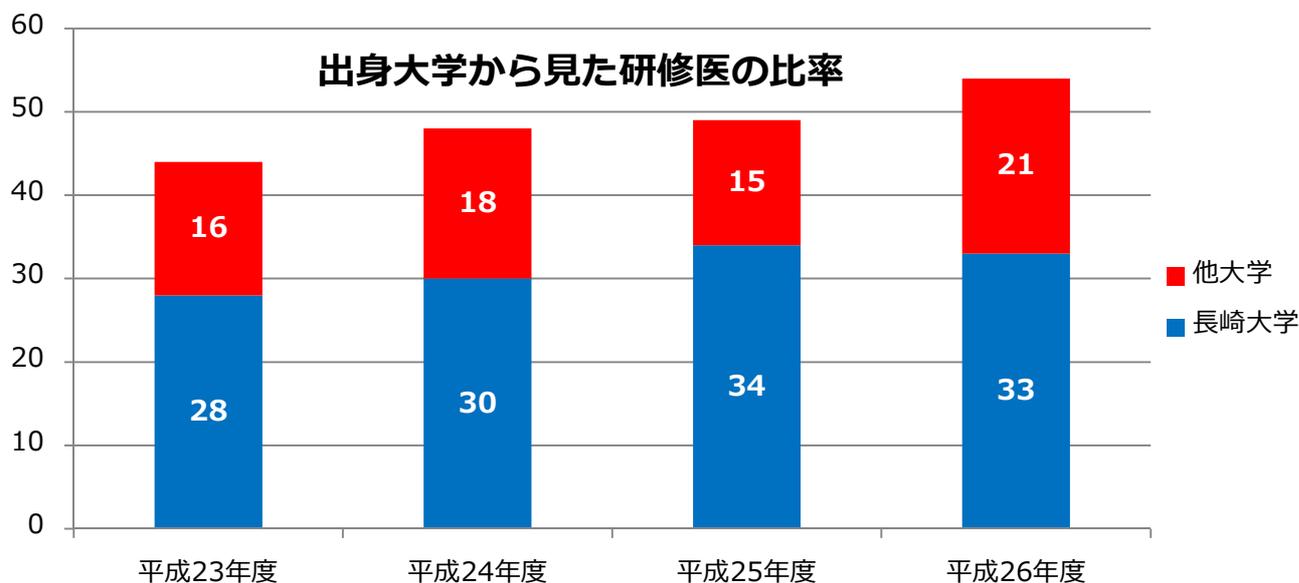
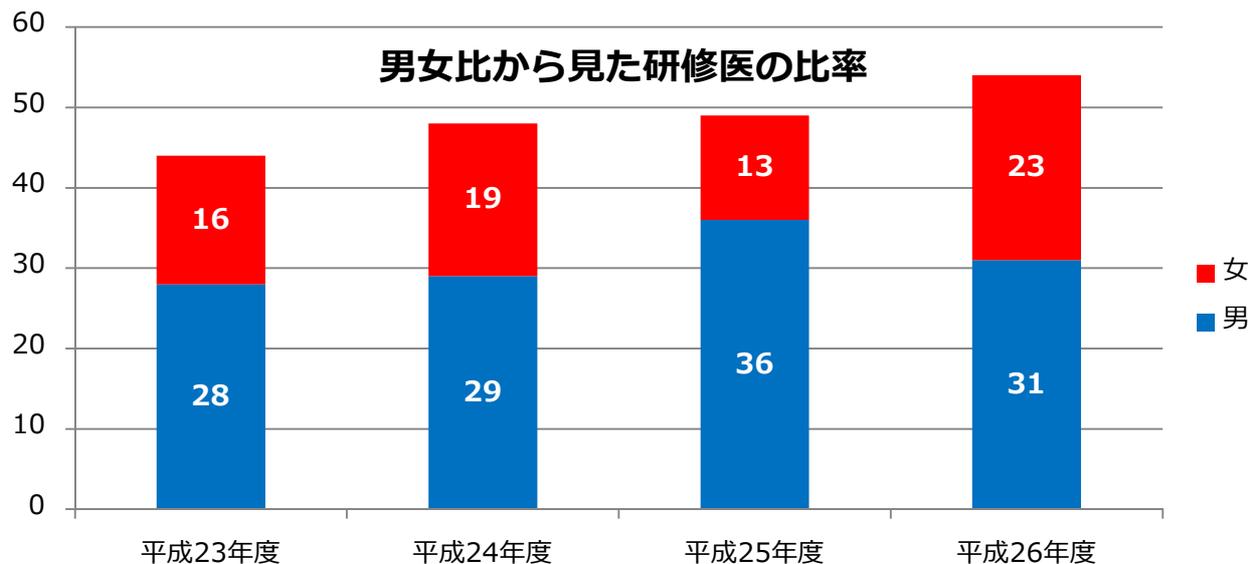
長崎大学病院 受験者数、マッチ者数、採用者



■ 平成26年度 採用者の比率



■ 過去4年間の研修医の比率



2) 研修プログラム

平成26年度プログラム研修スケジュール

募集定員65名		長崎大学病院 研修協力病院		
プログラム	コース/サブクラス	研修1年目	研修2年目	
基本 プログラム (定員61人)	A コース	A1	長崎大学病院	長崎市立市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、健康保険諫早総合病院、白十字会佐世保中央病院、大分県立病院、国立病院機構崎野医療センター、国立病院機構佐賀病院、済生会長崎病院、市立大村市民病院、北九州市立八幡病院、浜松医療センター、山口県立総合医療センター、北九州総合病院、五島中央病院、長崎県島原病院、国立病院機構長崎川棚医療センター、長崎労災病院、田川市立病院、周南記念病院
			内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)、地域医療(1か月)	選択科(12か月)
		内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(4か月)、地域医療(1か月)	内科(2か月)、選択科(10か月)	
	A2 (定員2人)		長崎大学病院	国立病院機構長崎医療センター
			内科(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(8か月)	総合診療部(3か月)、救急(3か月)、麻酔科(3か月)、選択科(3か月)
	Bコース	長崎市立市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、健康保険諫早総合病院	原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	長崎大学病院 原則として、地域医療(1か月)、選択科(11か月)
	Cコース	長崎大学病院	原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	長崎大学病院 原則として、地域医療(1か月)、選択科(11か月)
Dコース 注1 (新・鳴滝塾トライアングルコース)	長崎大学病院 新・鳴滝塾構成病院A 新・鳴滝塾構成病院B 注2	内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(14か月)、地域医療(1か月)		
Eコース (感染症コース)	長崎大学病院	感染(4か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(1か月)	長崎大学病院 内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択(2か月)、主に感染(7か月)	
プログラム	コース	研修1年目	研修2年目	
周産期重点 プログラム (定員4人)	Aコース	長崎大学病院 産婦人科又は小児科(3か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(1か月)	基本プログラムAコースA1と同じ研修協力病院 内科(2か月)、選択科(10か月)	
	Bコース	基本プログラムBコースと同じ研修協力病院 内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	長崎大学病院 産婦人科又は小児科(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(8か月)	
	Cコース	長崎大学病院 産婦人科又は小児科(3か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)	長崎大学病院 内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択科(9か月)	
	Dコース 注1 (新・鳴滝塾トライアングルコース)	長崎大学病院 新・鳴滝塾構成病院A 新・鳴滝塾構成病院B 注2	産婦人科又は小児科(3か月)、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(11か月)、地域医療(1か月)	
※特化コース				
基本 プログラム	Aコース	内科特化コース(健康保険諫早総合病院、佐世保市立総合病院のみ) 外科専門医育成ハブセンター初期研修コース 家庭医・総合医コース(五島中央病院、上五島病院、中対馬・対馬いづはら病院、平戸市民病院のみ)		
	Cコース	内科特化コース 外科専門医育成ハブセンター初期研修コース 精神科特化コース		
※アカデミック(大学院進学)コース(NU-CLEAR コース)				
基本プログラム	長崎大学病院、長崎市立市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院のみ			
周産期重点プログラム	長崎大学病院、長崎市立市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院のみ			
注1:長崎大学病院で地域医療1か月を含む9か月以上研修し、残りを本院以外の新・鳴滝塾構成病院16病院中2病院で研修する。				
注2:新・鳴滝塾の構成病院 長崎大学病院、長崎市立市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、長崎北徳洲会病院、国立病院機構長崎医療センター、市立大村市民病院、健康保険諫早総合病院、長崎県島原病院、佐世保市立総合病院、長崎労災病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院、長崎県対馬いづはら病院				

平成25年度プログラム研修スケジュール

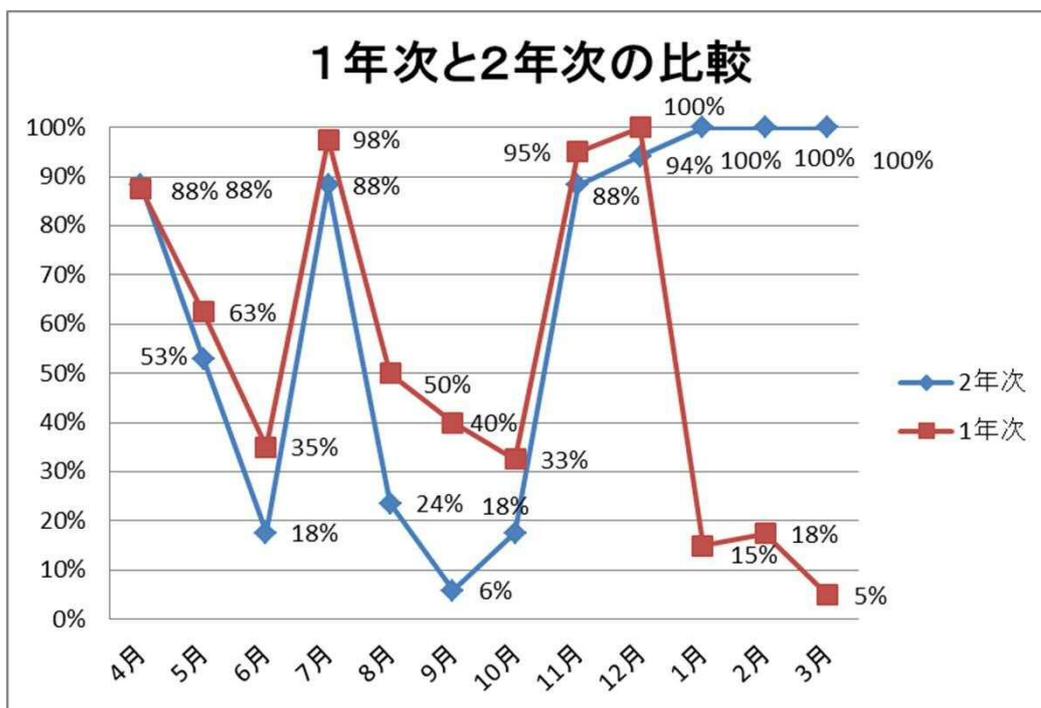
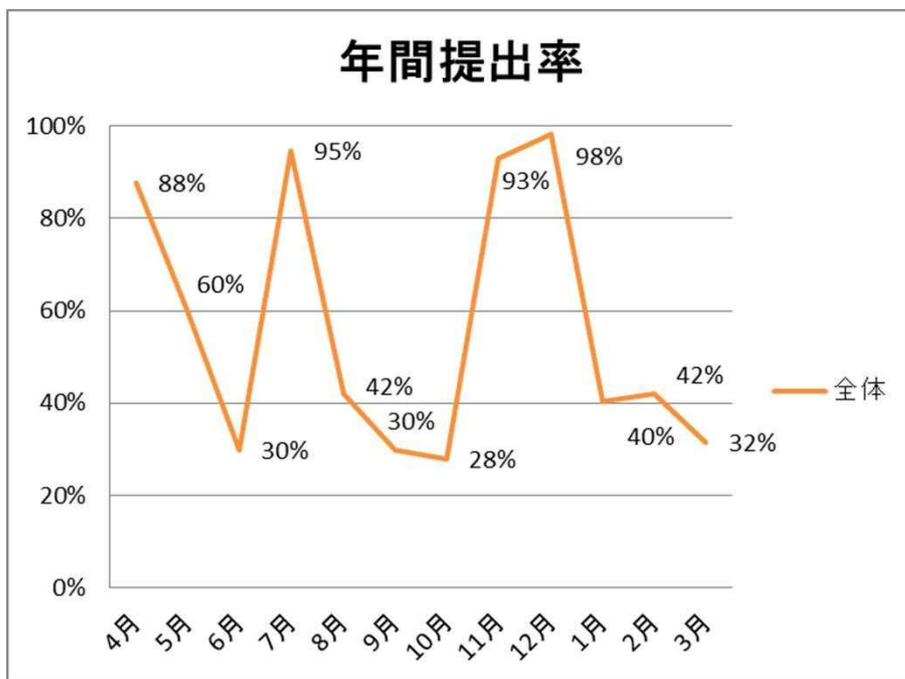
募集定員65名		長崎大学病院 研修協力病院		
プログラム	コース/サブクラス	研修1年目	研修2年目	
プログラムA 基本 (定員58人)	AA	AA1	長崎大学病院 原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	長崎市立市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、健康保険諫早総合病院 原則として、地域医療(1か月)、選択科(11か月)
		AA2	長崎大学病院 原則として、内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(4か月)、地域医療(1か月)	白十字会佐世保中央病院、大分県立病院、国立病院機構嬉野医療センター、国立病院機構佐賀病院、済生會長崎病院、市立大村市民病院、北九州市立八幡病院、浜松医療センター、山口県立総合医療センター、北九州総合病院、五島中央病院、長崎県島原病院、国立病院機構長崎川棚医療センター、長崎労災病院、田川市立病院、周南記念病院 原則として、内科(2か月)、選択科(10か月)
	AA3 (定員2人)	長崎大学病院	国立病院機構長崎医療センター	
		内科(3か月)、地域医療(1か月)、選択科(8か月)	総合診療部(3か月)、救急(3か月)、麻酔科(3か月)、選択科(3か月)	
	AB	長崎市立市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、健康保険諫早総合病院	長崎大学病院	
		原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	原則として、地域医療(1か月)、選択科(11か月)	
	AC	長崎大学病院	長崎大学病院	
		原則として、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	原則として、地域医療(1か月)、選択科(11か月)	
AD 注1 新・鳴滝塾トライアングルコース	長崎大学病院 新・鳴滝塾構成病院(1) 新・鳴滝塾構成病院(2) 注2		内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(14か月)、地域医療(1か月)	
プログラム		研修1年目	研修2年目	
プログラムB 小児科 (定員2人)		長崎大学病院	長崎大学病院	
		小児科(2か月)、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(1か月)	小児科(11か月)、地域医療(1か月)	
プログラム		研修1年目	研修2年目	
プログラムC 産婦人科 (定員2人)		長崎大学病院	長崎大学病院	
		産婦人科(2か月)、内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(1か月)	産婦人科(11か月)、地域医療(1か月)	
プログラム		研修1年目	研修2年目	
プログラムD 感染症 (定員3人)		長崎大学病院	長崎大学病院	
		感染(4か月)、内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(1か月)	内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択(2か月)、主に感染(7か月)	
※特化コース				
プログラムA	AA	内科特化コース(健康保険諫早総合病院、佐世保市立総合病院のみ) 外科特化コース 家庭医・総合医コース(五島中央病院、上五島病院、中対馬・対馬いづはら病院、平戸市民病院のみ)		
	AC	内科特化コース 外科特化コース 精神科特化コース		
※アカデミック(大学院進学)コース				
プログラムA	AA	AA1	アカデミック(大学院進学)コース(NU-CLEARコース)	
	AB	2年目に長崎市立市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院のみ		
	AC	1年目に長崎市立市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院のみ		
プログラムB			アカデミック(大学院進学)コース(NU-CLEARコース)	
プログラムC				
プログラムD				
注1:長崎大学病院で地域医療1か月を含む9か月以上研修し、残りを本院以外の新・鳴滝塾構成病院16病院中2病院で研修する。				
注2:新・鳴滝塾の構成病院 長崎大学病院、長崎市立市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生會長崎病院、上戸町病院、長崎北徳洲会病院、国立病院機構長崎医療センター、市立大村市民病院、健康保険諫早総合病院、長崎県島原病院、佐世保市立総合病院、長崎労災病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院、長崎県対馬いづはら病院				

3) ポートフォリオ

初期研修修了規定に基づき大学病院にて作成したポートフォリオを毎月月末に提出させ進捗状況を把握している。

平成26年度は大学病院内に在籍している57名（1年次40名、2年次17名）とたすきがけにて関連病院在籍の36名（1年次5名、2年次31名）の経験症例や、レポート、フィードバックシートをセンター担任がチェック。関連病院研修中の研修医のチェックは年2回行われるセンター長との面談時に行う。毎年年度末の2月に管理委員会が開催され合否が確定されるため、2年次の12月迄に必須・選択・地域研修を経験しレポートが完成されるよう研修医に告知する。

■提出状況



■星取表

氏名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	○	○	○				地域				地域	
B	○	○	○	○								
C	○	○	○	○	○	○	地域		地域			
D	○	○	○	○	○	○	○	○		地域		
E	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
F	○	○	○	○	○	○						
G	○	○	○	○	○	○	○					地域
H	○	○	○	○	○	○		地域				
I	○	○	○	○	○	○	地域					
J	○	○	○	○	○	○			地域			
K	○	○	○	○	○	○	○		地域			
L	○	○	○	○	○	○			地域			
M	○	○	○	○	○	○	○					
N	○	○	○	○	○	○	○	地域				
O	○	○	○	○	○	○	○	○				
P	○	○	○	○	○	○	地域					
Q	○	○	○	○	○	○						
R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地域	
S	○	○	○	○	○	○					地域	
T	○	○	○	○	○	○	○				地域	
U	○	○	○	○	○	○						地域
V	○	○	○	○	○	○						地域
W	○	○	○	○	○	○						地域
X	○	○	○	○	○		地域					
Y	○	○	○	○	○	○	地域	○				
Z	○	○	○	○	○	○	○					
AA	○	○	○	○	○		地域			地域		
AB	○	○	○	○	○					地域		
AC	○	○	○	○	○			地域				
AD	○	○	○	○	○	○				地域		
AE	○	○	○	○	○	○						
AF	○	-	-	-								
AG	○	○	○	○	○	○	○					
AH	○	○	○	○			地域					
AI	○	○	○	○	○	○						
AJ	○	○	○	○	○	○	○		地域			
AK	○	○	○	○	○	○						
AL	○	○	○	○	○	○	地域	○	○	○	○	○
AM	○						地域					
AN	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	外傷	CPC	合計		
不眠																																		6
浮腫																																		10
リンパ節腫脹																																		21
発熱																																		10
頭痛																																		14
めまい																																		22
視力障害、視野狭窄																																		14
結膜の充血																																		10
胸痛																																		11
動悸																																		11
呼吸困難																																		10
咳・痰																																		18
嘔気・嘔吐																																		10
腹痛																																		28
便秘異常(下痢・便秘)																																		28
腰痛																																		6
四肢のしびれ																																		20
血尿																																		23
排尿障害(尿失禁・排尿困難)																																		6
脳・脊髄血管障害(脳梗塞、…)																																		20
心不全																																		11
高血圧症(本態性・二次性高血…)																																		7
呼吸器感染症(急性上気道炎、…)																																		8
食道・胃・十二指腸疾患(食道静…)																																		0
腎不全(急性・慢性腎不全、透析)																																		25
糖代謝異常(糖尿病、糖尿病、…)																																		0
認知症(血管性認知症を含む)																																		6
気分障害(うつ病、躁うつ病を…)																																		7
統合失調症(精神分裂症)																																		8
外科症例レポート																																		20

1年次経験した症例



4) グラウンドラウンド

開催日時：隔週水曜日（月2回開催） 18：30～19：30

開催場所：長崎大学病院7F シミュレーションセンター内

内 容：研修医が最低限知っておかなければならない知識や技術を、すぐに使えるような内容で
レクチャーする。

対 象 者：長崎大学 初期研修医

平成26年度グラウンドラウンド日程表

開催日		診療科	担当	テーマ	
H26	4月	3日	エルゼビア		プロシージャーズ・コンサルト
		23日	九州厚生局		保険診療について
	5月	7日	総合診療科	井上 圭太	研修医のための症候診断入門
		21日	救命救急センター	泉野 浩生	栄養
	6月	4日	第一内科	阿比留 教生	糖尿病薬、さて、どれ使う？
		18日	循環器内科	土居 寿志	心電図・不整脈
	7月	2日	がん診療センター	芦澤 和人	胸部単純X線写真
		9日	がん診療センター	芦澤 和人	胸部CT
	8月	6日	麻酔科	一ノ宮 大雅	人工呼吸器について
		20日	麻酔科	一ノ宮 大雅	人工呼吸器について
	9月	3日	感染制御教育センター	泉川 公一	抗菌薬の使い方
		24日	エルゼビアジャパン		Up To Dateの使い方
	10月	22日	第二内科（腎臓）	小畑 陽子	輸液
		29日	がん診療センター	芦澤 和人	胸部CT
	11月	12日	第一外科	田浦 康明	急性腹症
		26日	皮膚科・アレルギー科	竹中 基	薬疹
12月	10日	産婦人科	長谷川 ゆり	産婦人科救急	
H27	1月	14日	安全管理部	栗原 慎太郎	インシデントレポートの書き方 ※1年次参加必須
		21日	安全管理部	栗原 慎太郎	インシデントレポートの書き方 ※1年次参加必須
	2月	4日	泌尿器科	松尾 朋博	排泄障害
		25日	小児科	佐々木 理代	小児救急



アンケート結果

質問内容		回答率(%)					
		5月7日	5月21日	6月4日	6月18日	7月2日	8月6日
1～2 講師について							
1. 資料はよくまとめられており、わかりやすかった	期待以上	93	88	100	68	93	87
	期待どおり	7	12	-	3	7	3
	期待はずれ	-	-	-	-	-	7
	コメントできない	-	-	-	29	-	3
2. 資料により識が増した	期待以上	90	91	100	65	89	87
	期待どおり	10	9	-	3	11	3
	期待はずれ	-	-	-	-	-	7
	コメントできない	-	-	-	32	-	3
3～6 講師について							
3. 落ち着いた雰囲気だった	期待以上	98	91	100	95	89	87
	期待どおり	2	6	-	5	11	13
	期待はずれ	-	-	-	-	-	-
	コメントできない	-	3	-	-	-	-
4. 明確でわかりやすかった。	期待以上	98	94	100	97	93	90
	期待どおり	2	6	-	3	7	7
	期待はずれ	-	-	-	-	-	3
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
5. 受講者の話をよく聞き、興味・試行・議論・質問を促した	期待以上	86	91	100	86	89	90
	期待どおり	12	9	-	11	11	10
	期待はずれ	2	-	-	3	-	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
6. 資料等をうまく使っていた	期待以上	88	94	100	86	89	90
	期待どおり	12	6	-	5	7	7
	期待はずれ	-	-	-	-	-	3
	コメントできない	-	-	-	9	4	-
7. 大事な点をまとめていた	期待以上	95	94	100	97	93	93
	期待どおり	5	6	-	3	7	7
	期待はずれ	-	-	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
7～8 環境について							
8. 身体的に心地よかった。	期待以上	88	88	100	89	89	83
	期待どおり	12	6	-	8	11	17
	期待はずれ	-	3	-	-	-	-
	コメントできない	-	3	-	3	-	-
9. 総合点	期待以上	95	88	97	92	93	83
	期待どおり	5	3	-	3	4	10
	期待はずれ	-	-	-	-	-	3
	コメントできない	-	9	3	5	3	4

アンケートで回答いただいたコメントの一例 (8月6日開催 グラウンドラウンドより)

最もよかった点

- ・ はっきり明快であったので分かりやすかった。種類がはっきりわかった。分類が整理できた。
- ・ 今まで説明されてもわからなかったS I M W、C P A P、P C V、P Sの意味がよくわかった。
- ・ 今、I C Uなので今の診療と直結していてすごく勉強になった。

学んだこと

- ・ 人工呼吸器のモードによる特徴、メリットなど
- ・ S I M W、P C Vの仕組みメリット、デメリット
- ・ 呼吸器管理の導入部分について

5) 短期海外研修 (ハワイ大学)

医学教育で世界的に有名なハワイ大学と提携し、救急対応の技術をみっちり学び、英語環境に触れて、ハワイも楽しめるプロジェクトを毎年開催。また、このハワイ研修には指導医も同行し、そこで体験した最先端のプログラムを積極的に取り入れることで当院のシミュレーション教育も常に進化し続けている。

平成26年度 ハワイ大学短期研修参加者

No. (50音順)	区分	氏 名	現研修病院	研修時の診療科
1	2年次	明石 周爾	諫早総合病院	内科
2	2年次	大久保 滯	長崎原爆病院	内科
3	2年次	岡本 百々子	長崎原爆病院	内科
4	2年次	小林 典子	長崎大学病院	第二内科
5	2年次	中村 裕一郎	長崎みなとメディカル センター市民病院	泌尿器科
6	2年次	西 亜紀	長崎大学病院	整形外科
7	2年次	西 紘太郎	長崎大学病院	整形外科
8	2年次	林 康平	長崎原爆病院	内科
9	2年次	藤江 祥子	長崎大学病院	麻酔科
10	2年次	本田 徳鷹	佐世保市立総合病院	泌尿器科

※ 指導医 宮本 俊之 (医療教育開発センター 講師)



平成26年度 ハワイ大学短期研修日程表

日付	地名	時刻	交通機関	コース	食事
1 09/06 (土)	福岡 ホノルル	20:45 10:26	DL598 ツアー・ハウス	福岡空港にて、各自、チェックイン 出国手続き後、デルタ航空直行便にて、 ホノルルへ 到着後、入国手続き、税関審査を終え、 団体専用出口へ 係員がお出迎え、ワイ特ホテルへご案内 チェックイン後、自由行動 (ホテルのお部屋は原則、15:00～となります ますが、お早めに入室いただけますよう ホテルへリクエストを上げております。)	機内 機内
2 09/07 (日)	ホノルル			終日、自由研修	
3 09/08 (月)	ホノルル			終日、研修	
4 09/09 (火)	ホノルル			終日、研修	
5 09/10 (水)	ホノルル			終日、研修	
6 09/11 (木)	ホノルル			終日、研修	
7 09/12 (金)	ホノルル			終日、研修	
8 09/13 (土)	ホノルル			終日、自由研修	
9 09/14 (日)	ホノルル	12:49	ツアー・ハウス DL599	係員がホテルより、空港へご案内 出国手続きを終えデルタ航空直行便にて 一路、帰国の途へ	機内 機内
10 09/15 (月)	福岡	17:50		福岡空港到着後、入国手続、税関検査後 解散 おつかれさまでした	

参加者からの感想（抜粋）

・救急の現場でのチームワークの重要性を再認識できました。各々のスタッフの役割分担を明確化し、リーダーとなる医師は明確な指示、そして情報収集と共有化を実施しなければならず、相互の良好なコミュニケーションが診療の質の向上につながると感じました。もちろんハワイのきれいな海で泳いだり、おいしい料理やお酒を久しぶりに再会した同期と嗜み、楽しい時間を共有できました。お互いの研修の話もでき、いい刺激を受けました。後輩の皆さんにも是非ハワイ研修をお勧めしたいと思います。

・救急現場での治療や手技、コミュニケーションの取り方、具体的にはクローズドグループコミュニケーションが効果的であること、ポジティブフィードバック等、ハワイで身に着けたフットワークとコミュニケーション技術と積極性は、これからの研修とその先の医療に生かしていきたいです。同行してくださった宮本先生はじめ、ハワイ研修プログラムのために尽力くださった多くの方々には、大変感謝しています。今後、長崎の医療に貢献できるよう努力していきたいです。

・今回の研修に参加して本当に良かったと思った。長崎に帰ってからも今回学んだこと、特にコミュニケーションの分野に関ししっかり活かしていきたい。

6) 無料英会話教室

開催日時：毎週木曜日 20:00~21:30

開催場所：長崎大学病院 医療教育開発センター 教授室

目的：若手医師へより高度な英会話力を身につけさせることを目的とする

講師：Ian Richmond

対象者：長崎大学 初期研修医



参加した研修医の先生のコメント

- ・研修中忙しい中で息抜きになる。
- ・研修医室で開催されているので気軽に参加できてうれしい。
- ・英語に触れる機会が減ったのでとても役に立つ。

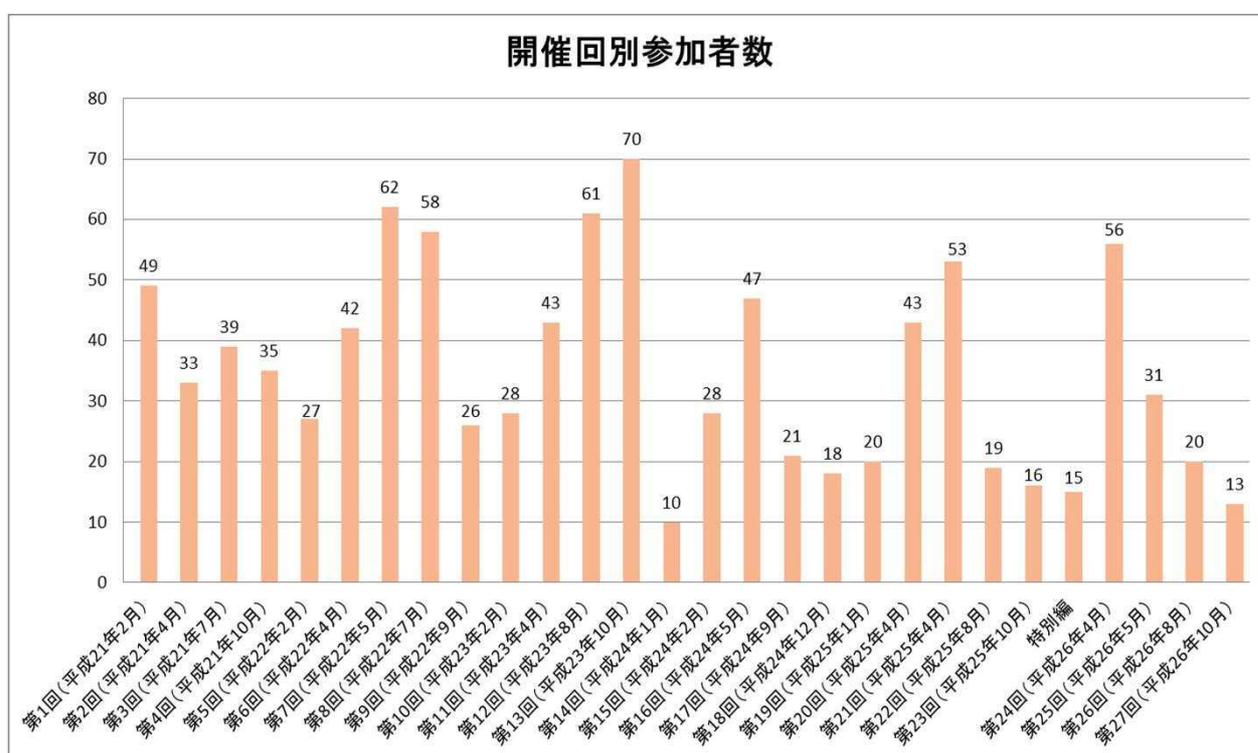
7) セミナー

①実力アップセミナー

実力アップセミナーとは、長崎・佐賀の初期及び後期研修医の技術・知識・態度の向上のために、定期的に当センター主催で開催されるセミナーで、内容によっては、学生や他職種の人も参加できるようにし、大学間のみならず、地域の指導医と院内外の参加者との交流ができた。

■参加者内訳

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加人数	183名	216名	212名	106名	146名	120名



■参加者内訳（平成26年度開催セミナー）

	実施日	内容	定員	応募者数	出席者数	参加者内訳		勤務先内訳		満足度 (5点満点)
						卒後3年 目以上				
第24回	H26.4.26	心電図 道場	40人	60人	56人	卒後3年 目以上		長崎大学病院	37人	5点：62% 4点：36% 3点：2%
						研修医 (2年)	4人	諫早総合病院	3人	
						研修医 (1年)	52人	長崎みなとメディカル センター市民病院	6人	
								長崎医療センター	6人	
								佐世保総合病院	2人	
								済生会長崎病院	1人	
								五島中央病院	1人	
第25回	H26.5.18	身体 診療	20人	37人	31人	卒後3年 目以上		長崎大学病院	26人	5点：67% 4点：30% 3点：3%
						研修医 (2年)	1人	諫早総合病院	1人	
						研修医 (1年)	30人	長崎みなとメディカル センター市民病院	2人	
								長崎医療センター	2人	
第26回	H26.8.21	問診	25人	28人	20人	卒後3年 目以上	4人	長崎大学病院	18人	5点：69% 4点：26% 3点：5%
						研修医 (2年)	3人	長崎みなとメディカル センター市民病院	2人	
						研修医 (1年)	13人			
第27回	H26.10.5	EBM	20	20人	13人	卒後3年 目以上	6人	長崎大学病院	12人	5点：75% 4点：25% 3点：0%
						研修医 (2年)	2人	長崎県立こども医療 福祉センター	1人	
						研修医 (1年)	5人			

■セミナー内容

第24回 長崎・佐賀 若手医師のための実力アップセミナー ～心電図道場～

開催日時：平成26年4月26日（土） 13：00～17：00

開催場所：長崎大学病院 第4講義室

内 容：心電図の読み方の講義（実践的基本）、個別添削方式心電図道場

対 象 者：長崎・佐賀の初期研修医（定員40名）

参加人数：研修医 56名（1年次52名、2年次4名）

指導医 12名（長崎大学5名、佐賀大学1名、その他6名）



第25回 長崎・佐賀 若手医師のための実力アップセミナー ～身体診療～

開催日時：平成26年5月18日（日） 10：00～13：00

開催場所：長崎大学病院 第3講義室

内 容：どこまでやれる？身体診察～血压管理も含めた身体所見のポイント～

対 象 者：長崎・佐賀の研修医（定員20名）

参加人数：研修医 31名（1年次30名、2年次1名）



第26回 長崎・佐賀 若手医師のための実力アップセミナー ～問診～

開催日時：平成26年8月21日（木） 18：30～20：00

開催場所：長崎大学病院 第4講義室

内 容：「君はグッとくる医者になれるか」

対 象 者：長崎・佐賀の研修医及び指導医（定員25名）

参加人数：研修医 16名（1年次13名、2年次3名）

修練医 1名 それ以上 3名



第27回 長崎・佐賀 若手医師のための実力アップセミナー ～EBM～

開催日時：平成26年10月5日（日） 10：00～13：00

開催場所：長崎大学病院 シミュレーションセンター（外来棟7F）

内 容：EBMワークショップ

対 象 者：研修医、指導医、病院職員（定員20名）

参加人数：研修医 7名（1年次5名、2年次2名）

修練医 2名 それ以上4名



質問内容		回答率 (%)			
		第24回	第25回	第26回	第27回
1. 現在の学年	初期1年次	93	97	63	42
	初期2年次	7	3	16	17
	それ以上	-	-	16	33
	修練医	-	-	5	8
	その他	-	-	-	-
2. 性別	男	69	73	74	75
	女	31	27	26	25
3～6 講師について					
3. 配布された資料はよくまとめられており、わかりやすかった	期待以上	38	23	資料なし	50
	期待どおり	56	43	資料なし	50
	期待はずれ	2	-	資料なし	-
	コメントできない	4	33	資料なし	-
4. 講師の説明は明確でわかりやすかった	期待以上	76	80	79	75
	期待どおり	22	20	21	25
	期待はずれ	-	-	-	-
	コメントできない	2	-	-	-
5. 講師は受講者の話をよく聞き、興味・試行・議論・質問を促した	期待以上	78	53	84	67
	期待どおり	20	47	16	33
	期待はずれ	-	-	-	-
	コメントできない	2	-	-	-
6. 講師は資料等をうまく使っていた	期待以上	60	50	資料なし	42
	期待どおり	38	50	資料なし	58
	期待はずれ	-	-	資料なし	-
	コメントできない	2	-	資料なし	-
7～8 環境について					
7. セミナーは明るく良い雰囲気だった	期待以上	67	63	79	75
	期待どおり	33	37	21	25
	期待はずれ	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-
8. 部屋の環境は快適だった	期待以上	58	53	74	58
	期待どおり	42	47	26	42
	期待はずれ	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-
9～11 セミナー全体について					
9. セミナーは期待したとおりの内容だった	期待以上	56	53	79	67
	期待どおり	42	43	16	33
	期待はずれ	-	3	-	-
	コメントできない	2	-	5	-
10. 全体を通しての総合点を5点満点で採点して下さい。	5点	62	67	69	75
	4点	36	30	26	25
	3点	2	3	5	-
	2点	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-
11. 次回も参加したいと思いますか？	参加したい	100	97	100	100
	無回答	-	3	-	-

アンケートで回答いただいたコメントの一例（第24回 心電図セミナーより）

今後実施して欲しいセミナーの内容を教えてください。	セミナーに参加して最も良かった点、改善すべき点や希望を教えてください。	セミナーに参加して学んだことを教えてください。
心エコーについて。	基本的な心電図の理解ができた。	心電図の基本的な読み方。
胸部X線。	数をこなす機会として設けられており、とても為になったと思う。	フィーリングと経験を知識。
輸液セミナー。	心電図を基礎から読む練習ができてよかったです。	ECG波形がどうしてその形になるのか、電気生理学的な考え方が少しわかったと思う。
病院で使われている器具等のセミナー（名前、組み立て方、使い方等）	自分は心電図がとても苦手だったので、今回で少し糸口がつかめた気がする。	心電図で見落としなく読むための順序なども細かく教えていただき勉強になりました。
薬（よく使うもの。）	基礎から丁寧に指導していただけでわかりやすかった。	全部の理解は難しかったですが、心電図のひとつからここまで考えるんだということを実感できました。
検査値の読み方。	楽しい雰囲気学ぶことができました。	所見の取り方、手順を1から学ぶことができ良かったです。
聴診。	休みの日に先生方がたくさん来られてありがたいと思った。	HR、AF、DSVTのシンプルな見方。
抗菌薬のセミナー。	意見交換しながら勉強できてよかったです。	心電図の臨床における読み方。注意してよく読むべきポイント、そうでないとこの区別が分かった。
手技の練習のセミナー	先生が質問に丁寧に答えていただいたので良かった。 （ECGの所見だけでなく）患者さんの背景を考えながら解くとより面白かった。現場ですぐに使えるので良かった。	V波の減高、みる順番に慣れられると思った。
頭動脈エコー。	楽しく学びました。	まだまだ練習する必要があるが、救急の現場でパット読むのに役立つと思った。
新患外来のためのセミナー。（鑑別診断、やるべき検査、問診練習）	指導医の先生方がとても丁寧でありがたかった。	心電図を読む順序、ポイントがわかった。
画像診断。	時間が足りない。	ECGの基本的な読み方（順序、注目すべき点）
人口呼吸器のセミナー。	実際経験を積まないと慣れないので良かったと思う。心電図所見記録用紙はとても有用だと思ったのでコピーして持ち歩きたい。	基本的な読み方を学ぶことができました。

これまでに“心電図道場”を5年間続けてきた結果、セミナーに参加し、実際に循環器内科に入局した人の数は、平成22年度より各年度1名ずつあった。

② 災害研修セミナー

平成26年6月21日（土）、新人の研修医と看護師を対象とした院内研修「新人研修医&新人看護師 合同 災害研修セミナー」を実施した。本研修のテーマは「医療人として災害に備えよう」。免許を取得したばかりの医療人が災害に遭遇した場合に、効率よく対応できるように、トリアージ（ふるい分け）の基本知識を学ばせ、チームワークの重要性を認識させることを目的にしている。今回は研修医39名、看護師43名の合計82名が参加した。

- i. 開催日時 平成25年6月21日（土）
- ii. 開催場所 ながさき式見ハイツ
- iii. 対象者 研修医1年次、新人看護師
- iv. 参加者数 (研修医は全員参加)

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
研修医	37人	36人	42人	39人
新人看護師	41人	36人	37人	43人
合計	78人	72人	79人	82人

v. 内容

- a. トリアージ実習
- b. 机上シミュレーション
- c. 講演

2014年 1年次研修医&新人看護師 合同研修!

テーマ：医療人として災害に備えよう!

目的：医療人として災害に遭遇した場合に備えるために、基本的な知識と技術を習得する。

到達目標：1. トリアージの基本知識の習得もする。
2. チームワークの重要性を体験する。

対象：研修医(1年次)40名+新人看護師44名

日時：6月21日(土) 12:00 大学病院正面玄関集合

費用：1,500円(懇親会費)

場所：ながさき式見ハイツ(長崎市国枝町2671-1)

(予定:内容に変更の場合もあり)

時間	A組	B組	担当
12:00	大学病院に集合 車で移動 →式見ハイツへ		
13:00	15分 開会宣言&スケジュール説明		挨拶 須田先生 説明 山下先生
13:15~14:45	机上シミュレーション	トリアージ実習	山下先生 宮本先生
14:45	15分 休憩		
15:00~16:30	15分 トリアージ実習	机上シミュレーション	山下先生 宮本先生
16:30	15分 休憩		
16:45~17:30	45分 講演「外から日本を見ておたら… ～働きながらやる国際医療支援～」		岡山済生会総合病院 稲葉 基高 先生
17:30	修了式+機片付け		
17:45~19:00	反省会を兼ねたバーベキュー大会(懇親会)		
19:30頃	車で移動 →大学病院へ		

問い合わせ先：医療教育開発センター(内線:7847)

a. トリアージ実習



多くの負傷者が出たときに、患者の重症度、緊急性をみて治療の優先順位を決める訓練。チームワークが求められるだけに、まずはグループ内で自己紹介をして親睦を深めた。その後、実習内容について宮本俊之先生から説明があり、研修医2年次の先輩医師がお手本の寸劇を見せた。実際の実習では、グループ毎に症例の違う7ブースを回り、一人一症例は必ず体験する。

b. 机上シミュレーション



訓練の内容は大災害が発生したと仮定して、長崎大学病院に運ばれてくる多数の負傷者の受け入れ態勢を整えるというもの。長崎大学病院の平面図に、病院長、各診療科の医師、看護部長、研修医、看護師などの役職を示すマグネットを配置。対策本部や診療スペースはどこにすべきか、どのような人員配置が有効的か……など、グループごとに意見を出し合ってまとめる。最後にはグループごとに発表する。

c. 講演



岡山済生会病院から稲葉基高先生をおむかえし、「外から日本を見てみたら… ～働きながらやる国際医療支援～」のテーマで講演していただいた。一昨年、台風で大被害に見舞われたフィリピンでの自身の援助の話を中心に、国際緊急援助について話していただいた。

vi. 参加者の反応（平成26年度の参加者79名へのアンケートより）

■ 机上シミュレーションの理解度

理解できた	36
大体理解できた	39
あまり理解できなかった	0
未記入	4

■ トリアージ訓練の理解度

理解できた	39
大体理解できた	37
あまり理解できなかった	0
未記入	3

■ フリーコメント

・災害医療を実技を交えて学ぶ機会はないので、とてもよい機会になりました。

・日々の業務だけでなく、広い視野を持てるようになりたいのでとてもよい経験でした。

・チームメイトと積極的なディスカッションができたので、とても有意義でした。

・実際にやってみると30秒という時間の短さを体験でき、繰り返し練習する必要があると思います。

・今日の研修をきっかけにして、実際の現場で正しくトリアージが行えるように今一度見直したいです。

・医療従事者として、災害時に活躍したいと思いました。そのためにも、今回の研修をもう一度見直します。

・病院の災害対策も知れて勉強になりました。

・トリアージの方法は知っていても、実際に行くと戸惑ってしまうとできないということが分かりました。自分でもそれを体験できたのも良かったし、チームメイトがどう対応するのかを見るのも勉強になりました。

・いつも話すことができない人と話すことができたのが良かったです。今後のネットワークづくりに役立ちそうだと思います。

・普段からシミュレーションを積み、考えずに手が動くくらい備えておくことが必要だと思いました。

・病院の災害対策も知れて勉強になりました。

・国際協力に関する視野も広げることができました。

・トリアージを実際に経験できる場はほとんどないので、この機会に経験できて良かったです。

・研修も講演会もすごく刺激のある内容でした。

↓トリアージ実習でのフィードバックの様子



↓机上シミュレーションで人員配置を考える



↓講演会の様子



↓トリアージ実習はチームワークが求められる



↓開会式は恒例のウェーブで士気を高めた



8) 外来研修

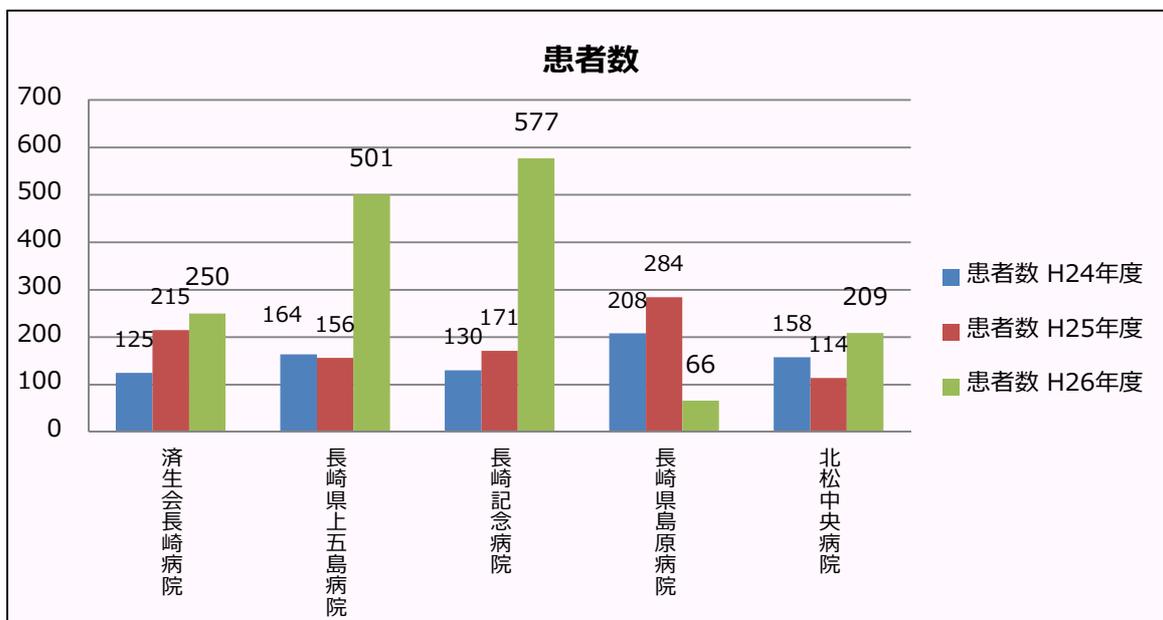
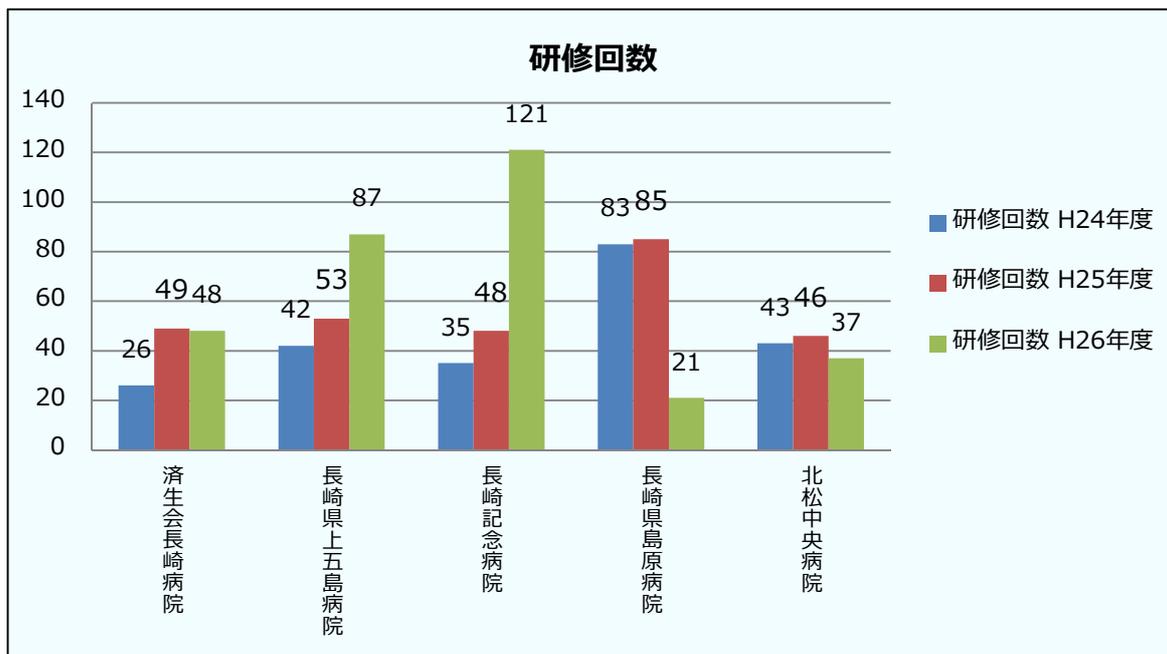
大学病院指導医（専門医）と研修医を地域医療機関に派遣し、診療応援を兼ねてプライマリケア外来の研修を行った。



■ 外来研修協力病院及び指導医一覧

外来研修先	平成24年度	平成25年度	平成26年度
長崎記念病院	濱田 久之	濱田 久之	濱田 久之
	-	-	原 信太郎
長崎県島原病院	柴田 英貴	柴田 英貴	松島 加代子
	中田 智夫	中田 智夫	-
北松中央病院	原 信太郎	原 信太郎	小畑 陽子
長崎県上五島病院	成田 智子	中田 るか	古賀 智裕
	-	渡邊 毅	渡邊 毅
済生会長崎病院	濱田 久之	濱田 久之	濱田 久之

■ 外来研修 研修回数および患者数



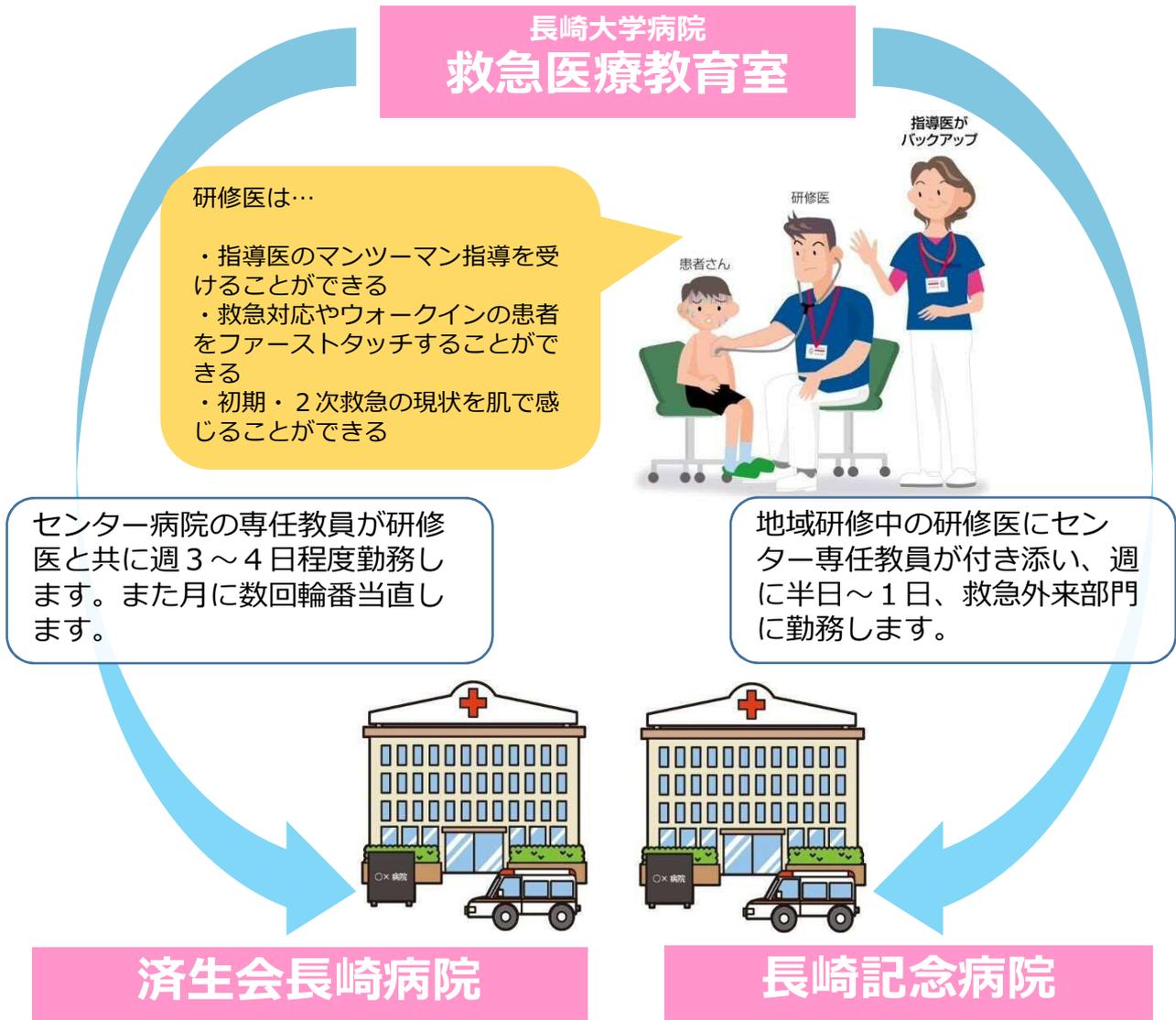
■ 研修医の感想

研修後のアンケートでの研修医によるコメント（抜粋）

- ✓ 大学病院ではほとんど見ない診断のついていない患者さんから必要な情報を問診し、検査や処方薬の内容を考える経験ができた。外来の時間のなさも体験できて良かった。
- ✓ 診察後や帰りの車で、指導医から今日みた症例について色々詳しくフィードバックがあった。
- ✓ 研修先の病院では、コンサルト時にどの科の先生もしっかり対応して下さり、わかりやすかった。病院としての研修医受け入れ体制が良いのだと思った。
- ✓ 1人で診察してから、その後先生と話あって検査などオーダーしたので、考える時間があってよかった。
- ✓ 移動時間が長く、少し時間がもったいない気がします。患者さんが少なかったので、もう少し診れるとよい。

9) 救急医療教育室

大学病院指導医（救急医）と研修医を地域医療機関に派遣し、診療応援を兼ねて初期・2次救急医療及び救急外来の研修を行った。



研修医は…

- ・指導医のマンツーマン指導を受けられる
- ・救急対応やウォークインの患者をファーストタッチすることができる
- ・初期・2次救急の現状を肌で感じることができる

センター病院の専任教員が研修医と共に週3～4日程度勤務します。また月に数回輪番当直します。

地域研修中の研修医にセンター専任教員が付き添い、週に半日～1日、救急外来部門に勤務します。

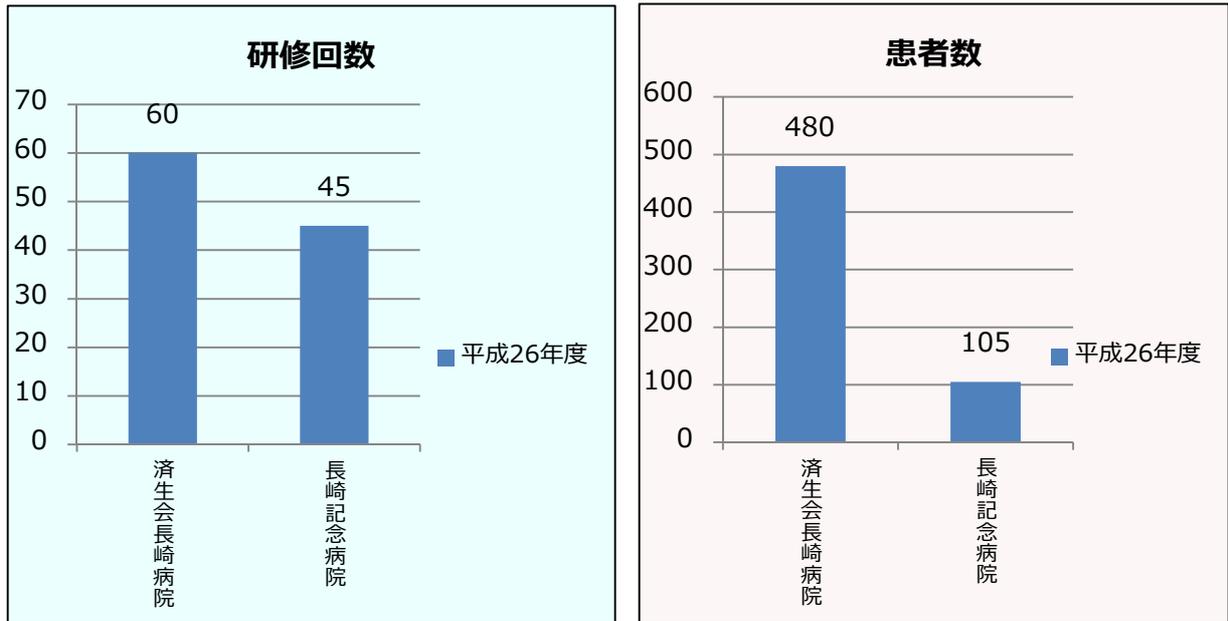
- 協力病院のメリット…
- ・常勤医の疲弊軽減
 - ・大学との連携強化
 - ・病院の活性化

- 協力病院関係者から
- ・マンパワー：人手不足のなかで専門知識豊富な先生がいて頂けるだけありがたいです。
 - ・研修医が臨床の場に参加してくれることで、当院職員に「人材育成」をする意識が芽生えた。
 - ・常勤医師の過剰な肉体的、精神的負担の軽減等の健康管理上の改善及び地域住民に対する切れ目のない充実した医療の提供が持続できますので助かっています。

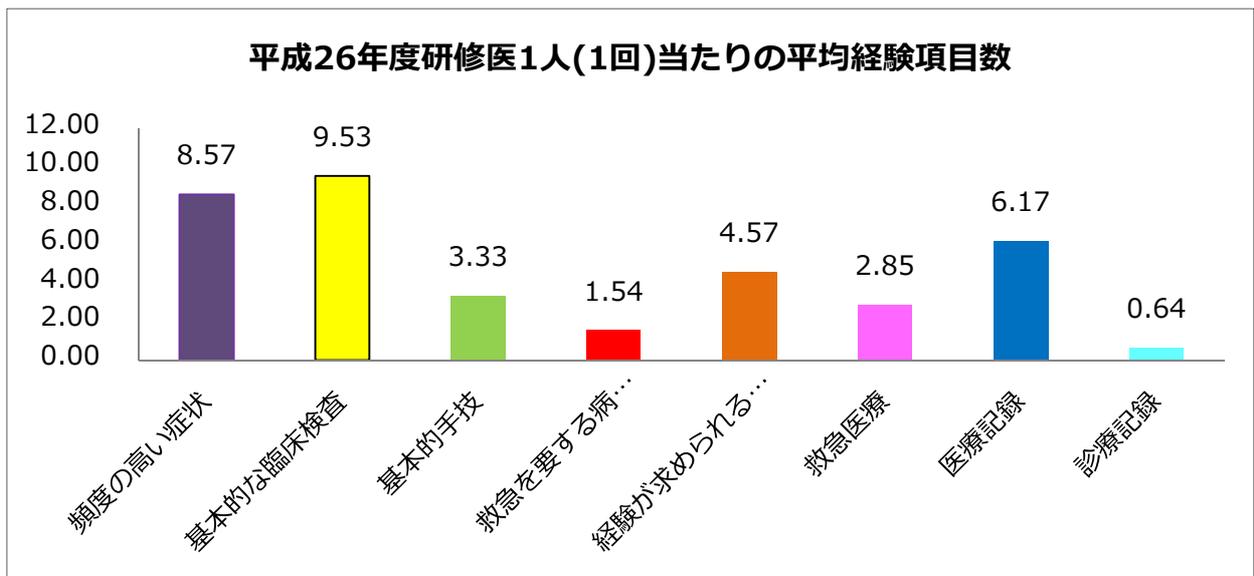
■ 救急医療教育室協力病院及び指導医一覧

勤務先	平成26年度
済生会長崎病院	長谷敦子
	山下和範
長崎記念病院	長谷敦子

■救急医療教育室 研修回数および患者数



■研修医の感想



■研修医の感想

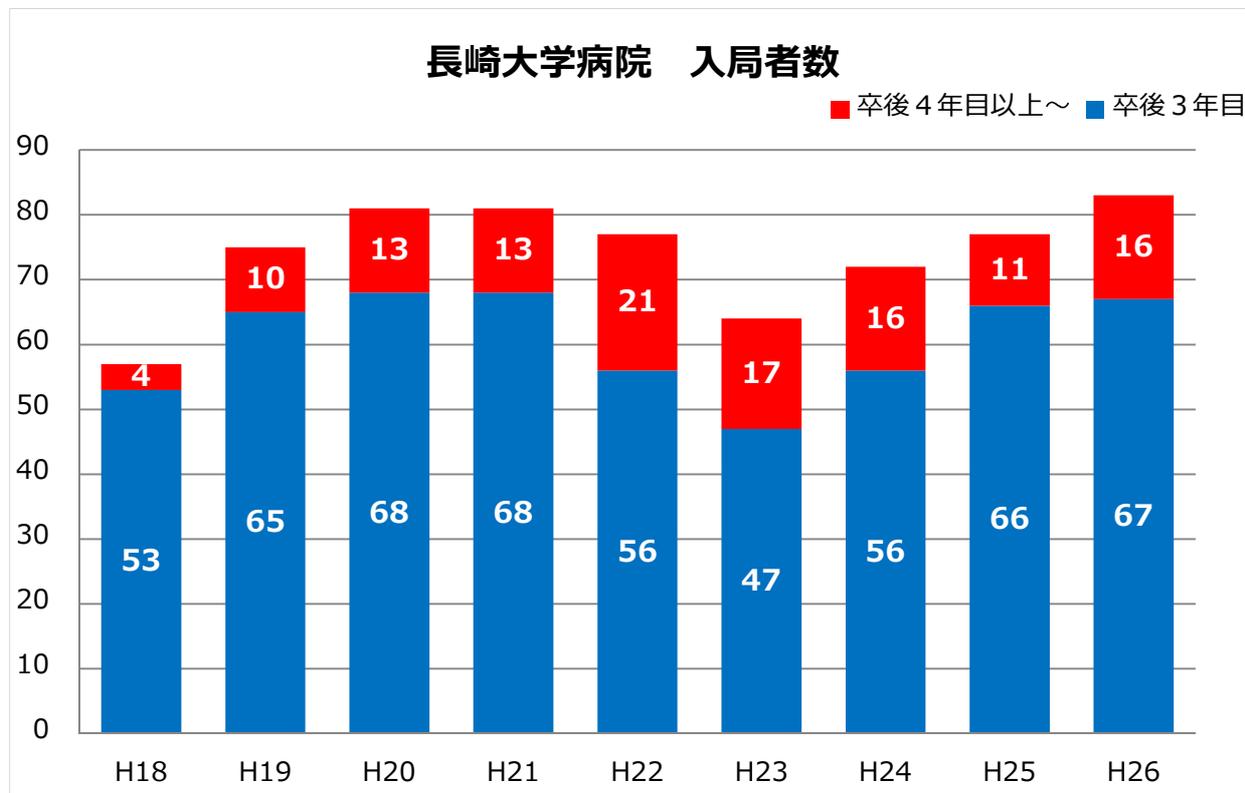
研修後のアンケートでの研修医によるコメント (抜粋)

- ✓ 2次救急病院の夜間当直を担当するのは初めてでした。今まで経験した外来よりも、多岐にわたる症状の患者さんを診ることができ、入院・帰宅のラインも勉強になった。
- ✓ ファーストタッチをまかせて頂いて、大学では診る事が出来ない症例を初期対応や鑑別の上げ方を学ぶことができた。また細かなテクニックから救急外来の心構えまで幅広く勉強になり良い経験になった。
- ✓ 行った手技や診察に対してフィードバックをして頂き、何が足りないのか何をすればいいのかが気付かせてもらった。
- ✓ このような機会が研修医1回/1月/人あればいいと思う。
- ✓ 日によって経験症例にばらつきがあるため、経験症例数に応じて救・外実習の日数を調整してほしい。

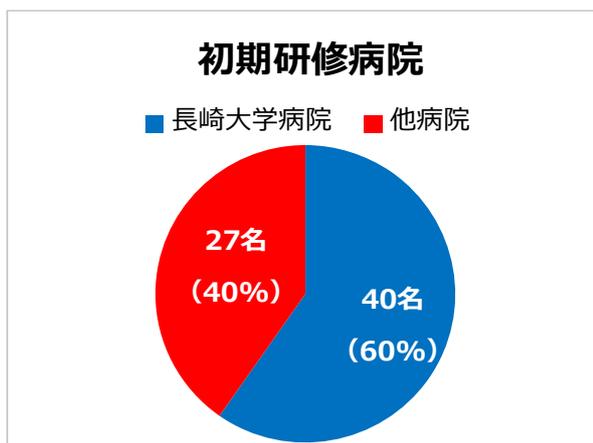
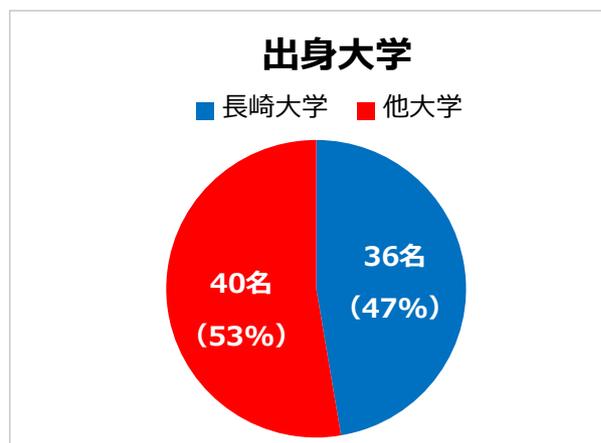
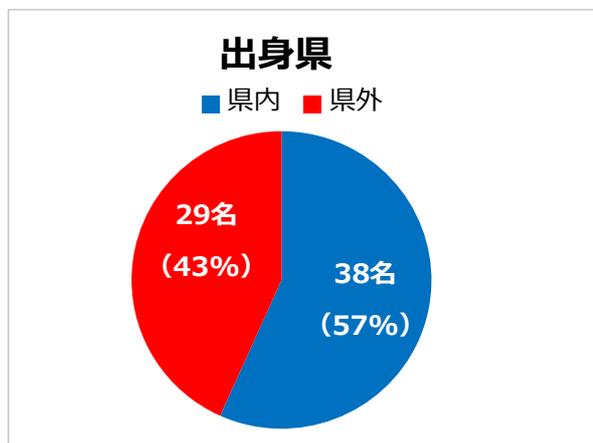
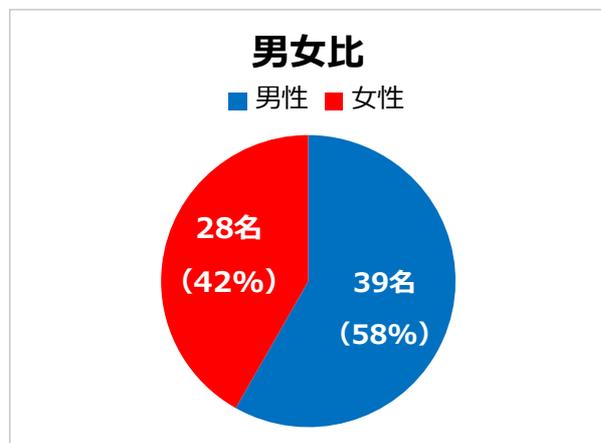
(3) 医科 後期研修医のために

(専門医の育成を行っています)

1) 入局者推移



■平成26年度 卒後3年の入局者の比率



2) コース別登録者数の推移

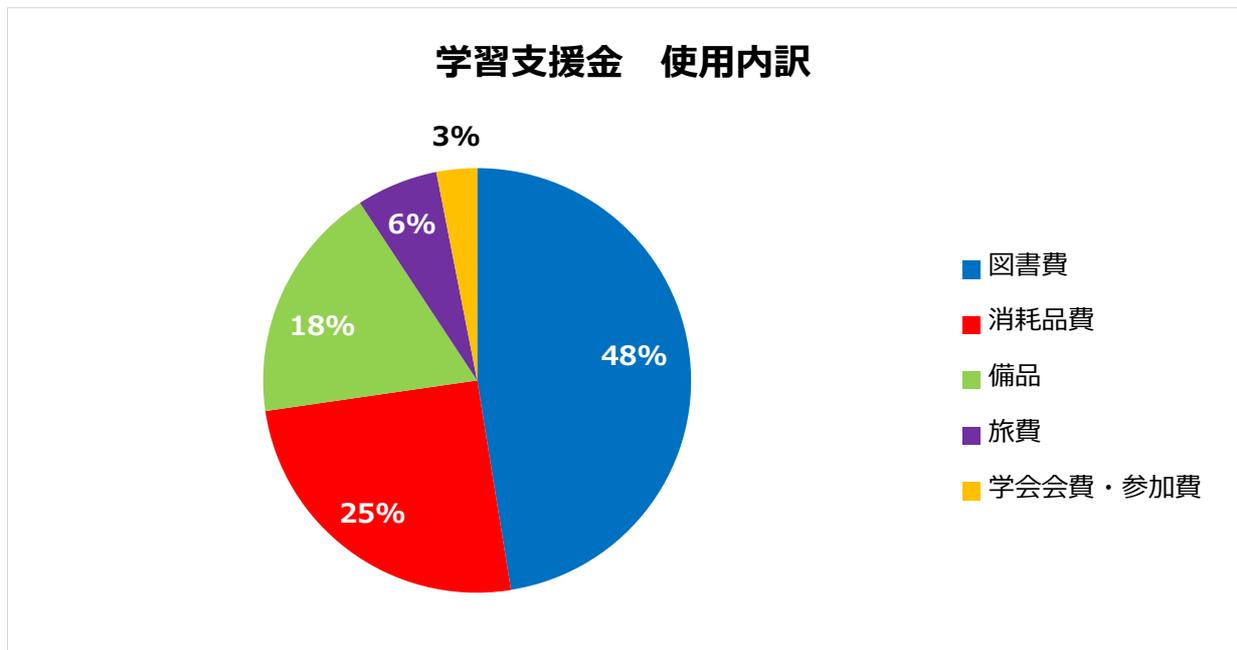
	コース名	21年度 登録数	22年度 登録数	23年度 登録数	24年度 登録数	25年度 登録数	26年度 登録数
1	認定内科医養成コース	70	76	75	75	84	95
2	膠原病リウマチ専門医養成コース	2	2	1	2	5	5
3	内分泌代謝科専門医養成コース	3	7	8	6	7	8
4	神経内科専門医養成コース	2	2	6	6	7	7
5	肝臓内科専門医養成コース	3	4	4	2	2	2
6	消化器専門医・消化器内視鏡専門医養成コース	6	8	11	17	17	18
7	気管支喘息・呼吸器アレルギー専門医養成コース	1	1	0	1	1	1
8	腎臓専門医・透析専門医養成コース	3	4	4	8	9	11
9	呼吸器専門医・呼吸器内視鏡専門医養成コース	8	9	18	19	25	21
10	感染症専門医養成コース	3	8	7	6	5	7
11	総合内科専門医養成コース	7	11	13	11	11	16
12	循環器専門医養成コース	3	4	6	8	10	10
13	老年病専門医養成コース	0	0	0	1	1	1
14	総合医養成コース	0	2	1	3	3	2
15	血液内科専門医養成コース	2	2	2	3	5	5
16	国際医療、感染症専門医養成コース	1	4	6	8	9	10
17	外科専門医養成コース	41	48	47	44	43	42
18	移植内科専門医養成コース	0	0	0	0	0	0
19	移植外科専門医養成コース	0	0	0	0	0	0
20	肝胆膵外科専門医養成コース	0	0	0	1	1	1
21	小児外科専門医養成コース	0	3	3	4	4	4
22	消化器外科専門医養成コース	2	8	9	14	23	27
23	乳腺外科専門医養成コース	2	1	3	2	3	2
24	外科専門医・心臓血管外科専門医養成コース	9	7	7	5	7	9
25	小児科専門医養成コース	6	10	16	17	19	22
26	放射線科専門医養成コース	7	10	11	10	12	12
27	産婦人科専門医養成コース	13	14	11	12	10	9
28	認定医・標榜医コース	15	16	15	10	8	8
29	麻酔科専門医養成コース	4	9	12	15	19	11
30	集中治療専門医養成コース	1	3	4	5	6	4
31	日本ペインクリニック学会認定医養成コース	0	1	1	1	1	0
32	救急科認定医養成コース	1	2	2	3	2	2
33	精神保健指定医・精神科専門医養成コース	8	8	7	11	13	13
34	整形外科専門医養成コース	26	25	24	24	26	22
35	日整会認定リウマチ医養成コース	0	1	1	1	0	0
36	日整会認定脊椎脊髄医養成コース	0	1	1	1	0	0
37	脊椎脊髄内視鏡認定医養成コース	0	0	0	0	0	0
38	皮膚科専門医養成コース	20	20	19	12	15	16
39	泌尿器科専門医養成コース	2	1	0	1	1	3
40	眼科専門医養成コース	8	13	13	13	8	11
41	耳鼻咽喉科専門医養成コース	5	6	5	7	7	7
42	脳神経外科専門医養成コース	7	7	6	5	4	6
43	形成外科専門医養成コース	22	19	19	15	17	18
44	こどもの心の診療医養成コース	0	1	1	1	1	1
45	生活習慣病専門医コース	0	0	0	2	2	2
46	母胎・胎児専門医養成コース	1	2	3	4	4	4
47	生殖医療専門医（指導医）養成コース	3	3	4	4	4	3
48	婦人科腫瘍専門医養成コース	5	4	3	2	1	1
49	産婦人科内視鏡学会技術認定医養成コース	5	3	4	6	6	6
50	超音波専門医養成コース	7	7	7	8	7	8
51	臨床遺伝専門医養成コース	0	0	0	1	1	2
52	呼吸器外科専門医養成コース	0	2	3	5	7	7
53	内視鏡外科専門医養成コース	0	1	2	2	3	2
54	大腸肛門病専門医養成コース	0	0	0	0	0	0
55	がん薬物療法専門医養成コース	3	4	4	7	4	2
56	地域総合医養成コース	0	0	0	1	1	0
57	基礎研究者養成コース	1	2	2	2	2	1
58	臨床検査専門医養成コース	-	-	0	0	0	0
59	輸血・細胞治療専門医養成コース	-	-	0	0	0	0
60	病理専門医養成コース	-	-	3	2	3	3
	未定	-	-	-	2	1	1
	合計	338	406	434	458	497	511

3) コース登録者の認定医・専門医取得状況

専門医名	合格者数						計
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	
認定内科医	20	23	20	22	16	13	114
リウマチ専門医	1	1		1	1	4	8
内分泌代謝専門医	1		1	1			3
糖尿病学会専門医	1	2	2	1	1	3	10
神経内科専門医				2	1	4	7
脳卒中専門医			2				2
肝臓専門医	2	2	5		1		10
消化器病専門医	4	3	3	1	3	7	21
消化器内視鏡専門医		3	2	3	1	3	12
アレルギー専門医	1	1					2
腎臓専門医	1		1	1	2		5
透析専門医	1	1			1	1	4
呼吸器専門医	7	2	1	1	6	6	23
気管支鏡専門医	1		3		1		5
感染症専門医		2		1	2	2	7
ICD		1	1	1	1		4
救急科専門医				2	2		4
総合内科専門医	4	1	5	1	2	5	18
循環器専門医	1	1	1		1	6	10
家庭医療専門医		1					1
血液専門医				2	1	2	5
外科専門医	13	8	12	12	8	6	59
消化器外科専門医	1	2	1	5			9
日本乳癌学会認定医		1					1
乳腺専門医			1		1		2
心臓血管外科専門医	2	1	1				4
小児科専門医			2	2	3		7
放射線科認定医	2	1	1				4
放射線科診断専門医		2	2	1	1		6
放射線科治療専門医				1			1
核医学専門医		1	2				3
産婦人科専門医	2	3	4	3	1	2	15
日本産婦人科腫瘍学会専門医				1			1
婦人科内視鏡学会技術認定医				1			1
超音波専門医				1			1
麻酔科認定医	4	5	5	3	3		20
麻酔科専門医	1	2	2		5	3	13
精神科専門医	1	1	1	2			5
整形外科専門医	6	3	3	4	2	6	24
日整会認定脊椎脊髄医		1					1
日整会認定リウマチ医				1			1
皮膚科専門医	1	2	5	1	1	1	11
泌尿器科専門医		1					1
眼科専門医	2	1	1	5		1	10
耳鼻咽喉科専門医		1	1		2	2	6
脳神経外科専門医		3	1	2	1		7
形成外科専門医	6	4	4	1			15
呼吸器外科専門医			1		2	1	4
小児外科専門医						1	1
消化器がん外科治療認定医				1			1
日本移植学会移植認定医				3	1		4
血漿交換療法専門医				1			1
抗菌化学療法認定医				1			1
がん薬物療法専門医	1	1					2
がん治療認定医	3	6	5	4		1	19
細胞診専門医			1				1
臨床検査専門医				1			1
臨床遺伝専門医				1			1
I V R 専門医					1		1
集中治療専門医					1		1
ペインクリニック専門医					1		1
内視鏡外科学会技術認定医					1		1
胃腸科認定医					1		1
女性ヘルスケア専門医					1		1
プライマリケア認定医					1		1
合計	90	94	103	98	81	80	546

4) 長崎県地域医療再生臨時特例基金からの後期研修医への学習支援金

長崎県地域医療再生臨時特例基金事業では、県内の後期研修医（卒後3年目）へ学習支援の募集を行った。長崎大学病院から48名、その他県内から19名、計67の応募があり、学習支援金を給付した。

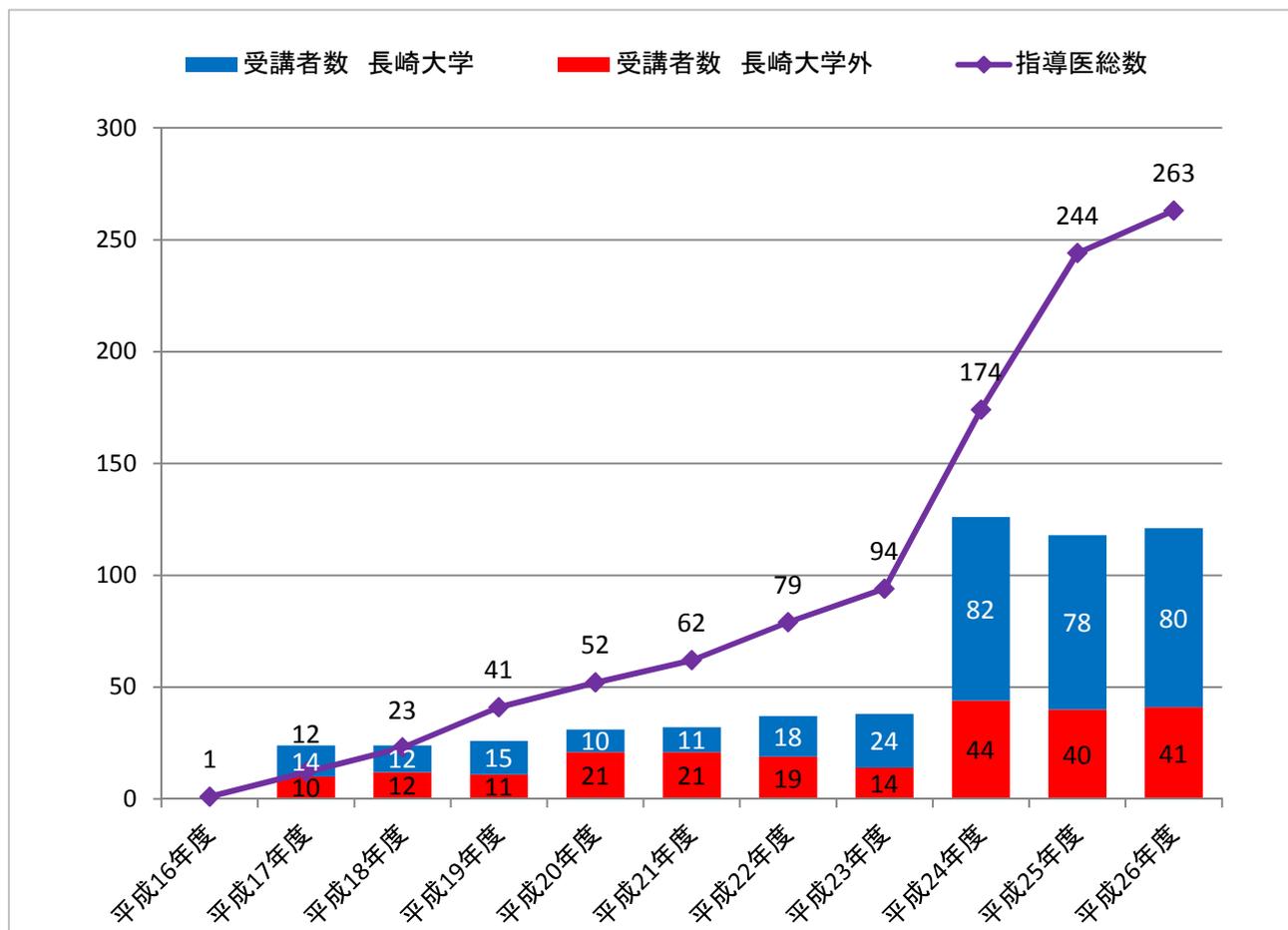


(4) 医科 指導医のために

(指導医の育成を行っています)

1) 指導医講習会

平成26年度に「長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会」を開催した。本講習会は、長崎大学医療教育開発センター主催、長崎県医師臨床研修協議会（新・鳴滝塾）を共催とし、厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」（平成16年3月18日付け医政発第0318008号）にのっとり内容で企画されている。平成24年度より年3回の開催となり、本年度研修修了者合計は121名である。



2) 長崎県地域医療再生臨時特例基金からの若手指導医への教育奨励金対象者

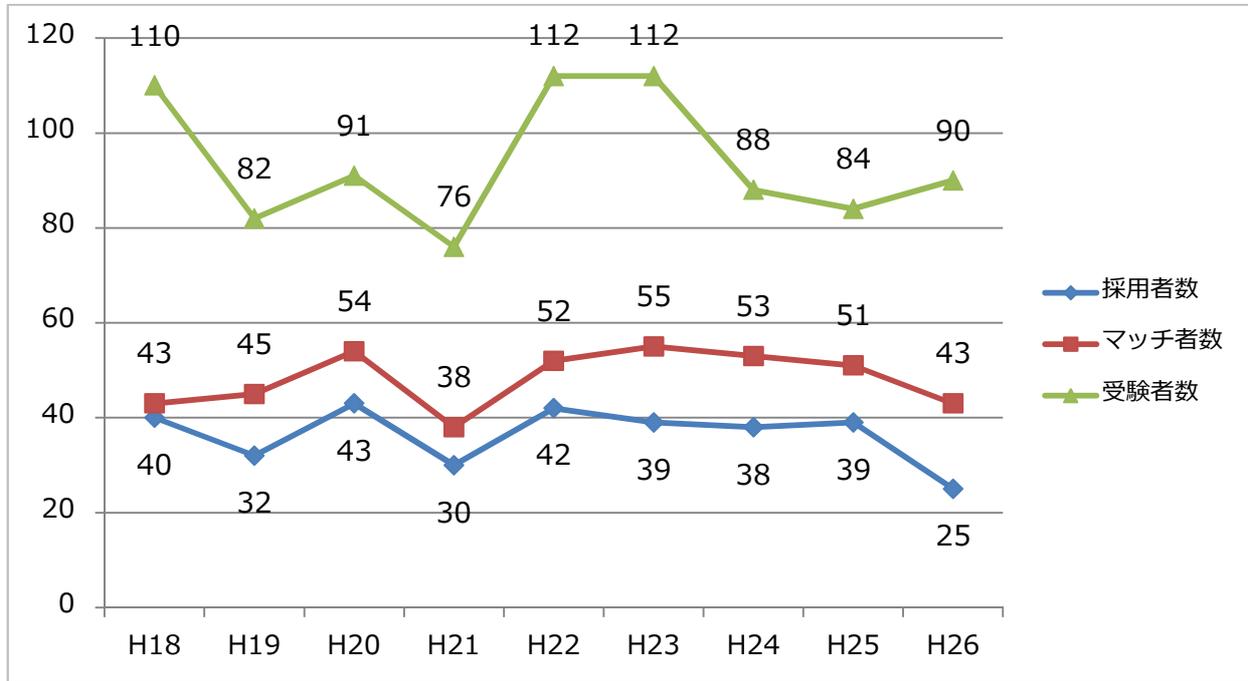
長崎県地域医療再生臨時特例基金事業では、「長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会」に参加した長崎大学病院の医師81名に対し、教育奨励金を給付した。

(5) 歯科 初期臨床研修のために

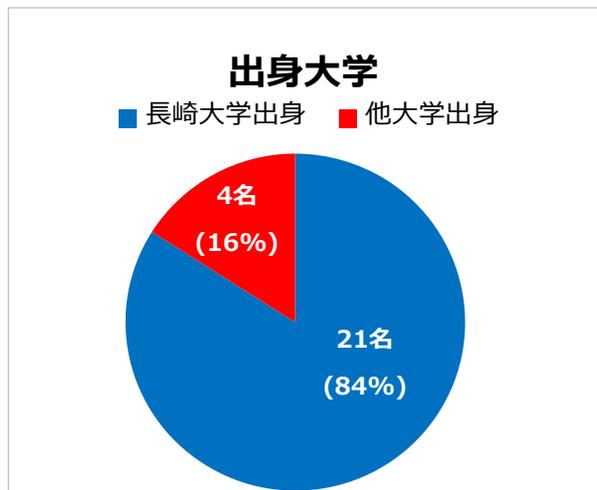
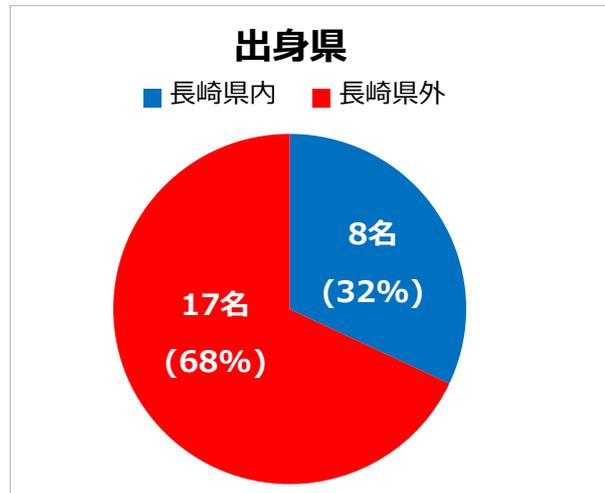
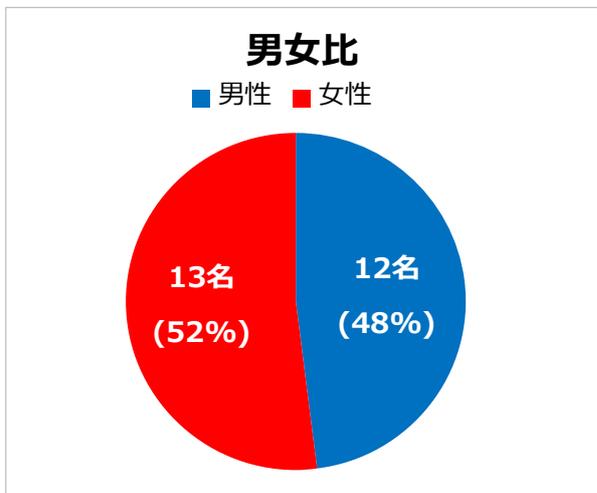
(研修プログラムなどの整備を行っています)

1) 研修医数推移

■ 受験者数、マッチ者数、採用者数の推移



■ 平成26年度実績



2) 研修プログラム

平成26年度プログラム研修スケジュール

■ 研修プログラム A (単独型臨床研修コース)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大学病院での研修											
保存・補綴 基礎研修								・臨床研修室での診療 ・ローテーション研修 (病床研修含む)		・予診業務 ・講義	

■ 研修プログラム B (複合型臨床研修コース)

B 1 コース (管理型臨床研修コース5カ月型)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
大学病院での研修												
保存・補綴 基礎研修		・臨床研修室での診療 ・ローテーション研修 (病床研修含む)					・予診業務 ・講義		協力型研修施設での研修 (5カ月)			

B 2 コース (管理型臨床研修コース5カ月型)

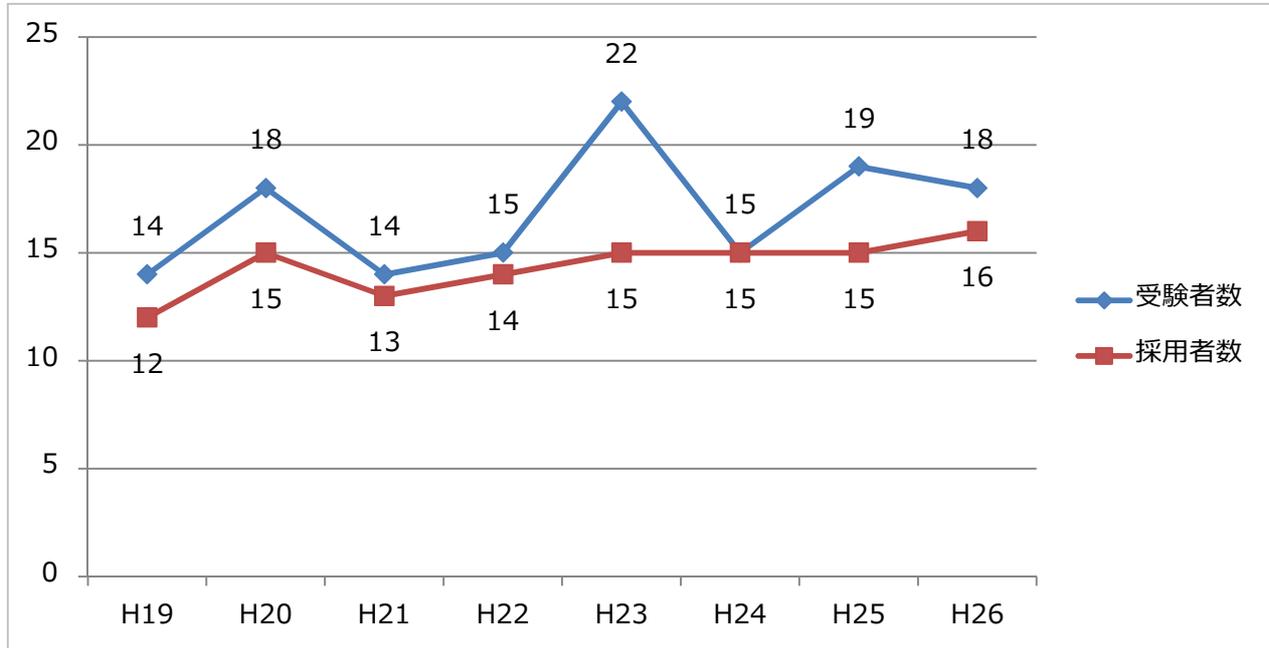
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
大学病院での研修													
保存・補綴 基礎研修		協力型研修施設での研修 (5カ月)					・臨床研修室での診療 ・ローテーション研修 (病床研修含む)					・予診業務 ・講義	

(6) 歯科 後期臨床研修のために

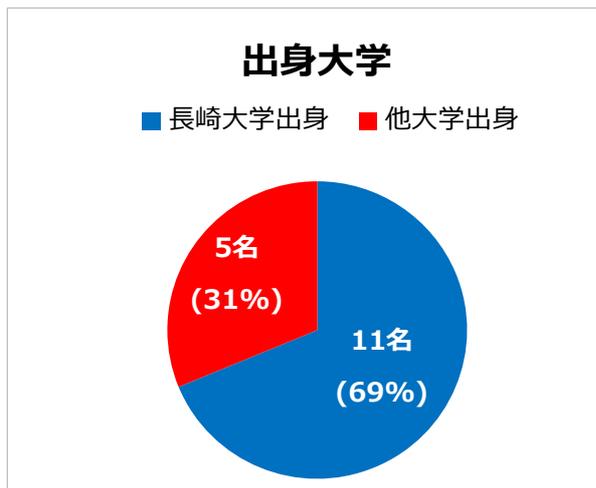
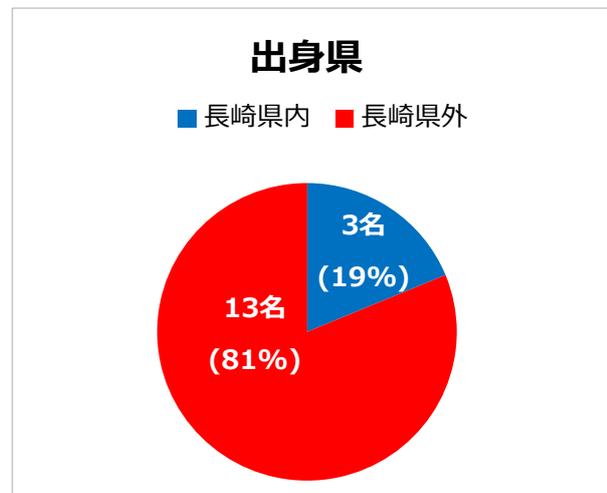
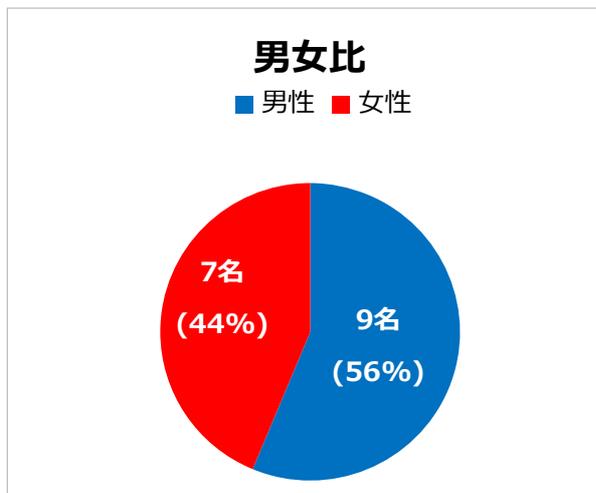
(学習プログラムなどの整備を行っています)

1) 研修医数推移

■ 受験者数、採用者数の推移



■ 平成26年度実績



(7) 看護師のために (新人の育成などを行っています)

1) 合同研修 (オリエンテーション)

平成26年4月1日(火)に医師・看護師を対象に合同研修(オリエンテーション)を行いました。合同研修では、『チーム医療』をテーマに医師・看護師混合チームでチームワークを高めるために互いの自己紹介から実際にプレゼンテーションを行うまでを実践しました。



WS作業風景



プレゼンテーションの様子

(8) 薬剤師のために (中堅の育成を行っています)

1) フィジカルアセスメント

個々の患者に最適な薬物療法を進める中で、患者の状況を正確に把握し、医薬品による副作用の防止、早期発見のために、フィジカルアセスメントを修得した薬剤師を育成することを目的に、各専門分野の医師・技師による実技と講義を行った。



	日にち	テーマ	学習方法	担当科
1	5/13(火)	開催式及び趣旨説明会	講習会の説明・聴診器展示会	
2	6/17(火)	フィジカルアセスメントの基本1	講義・シミュレーターを用いて実技	医療教育開発センター
3	7/1(火)	フィジカルアセスメントの基本2	講義・シミュレーターを用いて実技	医療教育開発センター
4	7/15(火)	フィジカルアセスメントの基本3	講義・シミュレーターを用いて実技	医療教育開発センター
5	8/5(火)	検査値異常からの副作用の見方、腹部診察	講義・シミュレーターを用いて実技	消化器内科
6	9/17(水)	皮膚科の副作用の見方	講義（症状の画像スライド含む）・ 皮内反応テストの実技	皮膚科
7	10/14(火)	循環器系の副作用の見方	講義（心電図、X線写真、心音含む）・ シミュレーターを用いての聴診	循環器内科
8	11/11(火)	精神・神経系の副作用の見方	講義（症状の動画スライド・ Q&A形式の内容を含む）	神経内科
9	12/16(火)	呼吸器系の副作用の見方 (薬剤性肺障害の発見方法)	講義（X線写真の見方を含む）・ シミュレーターを用いての聴診 (薬剤性肺障害特有の呼吸音の聴取)	呼吸器内科
10	1/13(火)	ベッドサイドにある医療機器の見方 (モニター、シリンジポンプ、酸素吸入、ネブライザー等)	実物の機器を見てその解説を受けながら 体験	MEセンター
11	2/17(火)	口腔・嚥下系の副作用の見方と嚥下レベル に合わせた服用形態について	講義（症状の動画スライドを含む）	歯科 (特殊歯科総合治療部)
12	3/10(火)	修了式	講習会の総評・修了書授与	

■ 過去の実績

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
参加人数	22	22	25	24	24

2) フィジカルアセスメントショートコース

平成26年6月8日(日)に第2回、10月19日(日)に3回と、「フィジカルアセスメントスキルアップセミナー」を長崎大学病院シミュレーションセンターを会場とし開催した。

■プログラム

	12名	12名
10:05	開会挨拶	
10:10 ～ 12:00	ベーシック フィジカルアセスメント	
	10分休憩	
12:10 ～ 12:50	(ランチョンセミナー)	
	10分休憩	
13:00 ～ 13:50	薬剤師のための糖尿病 一般講義(診療、薬剤等)	
	10分休憩	
14:00 ～ 14:20	低血糖対策	
	10分休憩	
14:30 ～ 15:30	実習 グルカゴン注射実習 (低血糖対策)	講義+実習 処方箋から考える 症例検討 4例
	10分休憩	
15:40 ～ 16:40	講義+実習 処方箋から考える 症例検討 4例	実習 グルカゴン注射実習 (低血糖対策)
16:40	終了書授与式 アンケート記入	
16:55	閉会	

ランチョンセミナー

第2回の議題は、「在宅におけるフィジカルアセスメント糖尿病性腎症血糖コントロール」、第3回の議題は、「薬剤師によるフィジカルアセスメントの状況-糖尿病治療患者のフィジカルアセスメントを例に-」だった。



セミナーの様子

■実績

	第1回 (H25.12.1)	第2回 (H26.6.8)	第3回 (H26.10.19)
参加人数	20	24	22

(9) 採用者オリエンテーション

1) 新規採用者オリエンテーション

平成26年4月1日(火)に記念講堂にて全業種新規採用者を対象にしたオリエンテーションを開催した。

■オリエンテーションスケジュール

時刻	内容	
8:00から	受付開始	(看護師・研修医等新規免許取得者を含む)
8:30まで	集合時間	(同上)
8:45 ~ 8:55	病院長挨拶 宣誓書朗読 医師(医科研修医1年次) 看護師	
8:55 ~ 8:56	教育担当副院長・看護部長・ 医療技術部長紹介	(同上)
8:56 ~ 9:00	病院の組織と身分	総務課(人事) 杉森 智宏 主査
9:00 ~ 9:30	メンタルヘルス セルフケアについて	心の健康相談室 福原 視美 先生
9:30 ~ 9:40	休憩・移動	
9:40 ~ 9:50	裁量労働制について	総務課(職員) 岩永 達也 主査
9:50 ~ 10:20	情報セキュリティについて	医療情報部 松本 武浩 先生
10:20 ~ 10:40	医薬品の取り扱いについて	薬剤部 樋口 則英 副薬剤部長
10:40 ~ 10:50	医療機器の取り扱いについて	ME機器センター 林 誠 副センター長
10:50 ~ 11:15	感染症対策について	感染制御教育センター 塚本 美鈴 先生
11:15 ~ 11:25	輸血について	細胞療法部 長井 一浩 先生
11:25 ~ 11:50	安全管理について	安全管理部 栗原 慎太郎 先生
11:50 ~ 12:00	教育制度について	医療教育開発センター 濱田久之センター長



2) 中途採用者オリエンテーション

毎月初日に医療法第6条の10に基づき、安全管理、印何感染対策等に関して研修会を行っている。
また、医師を対象にした電子カルテ基本操作研修を同日午後から行っている。

■職種別・月別採用者数（平成26年度実績）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師 (常勤)	1	3	1		2	1			1	4		13
医師 (非常勤)	4	12	5	2	1	3	3	1	2		4	39
看護師	5	0	7	6	3	10	6	1	2			47
看護助手	4	2	3	2	2	2	2			1	1	17
コメディカル	7	2	1	2	3	4		1				21
事務	10	4	19	1	4	5		2	2	2	2	48
計	31	28	36	13	15	25	11	5	7	7	7	185

■研修内容

- ・ 個人情報の取扱いについて（総務課 主査（総務） 山田一岳 氏） 5分
- ・ 安全管理について※（安全管理部 助教 栗原慎太郎 氏） 25分
- ・ 病院内感染対策2013※（感染制御教育センター 助教 塚本美鈴 氏） 25分
- ・ 輸血について※（細胞療法部 講師 長井一浩 氏） 10分
- ・ 臓器移植について（長崎県臓器移植コーディネーター 竹田昭子 氏） 15分
- ・ セルフケアについて（こころの健康相談室 臨床心理士 福原視美 氏） 30分
- ・ 裁量労働制について（総務課 主査（職員） 岩永 達也 氏） 5分



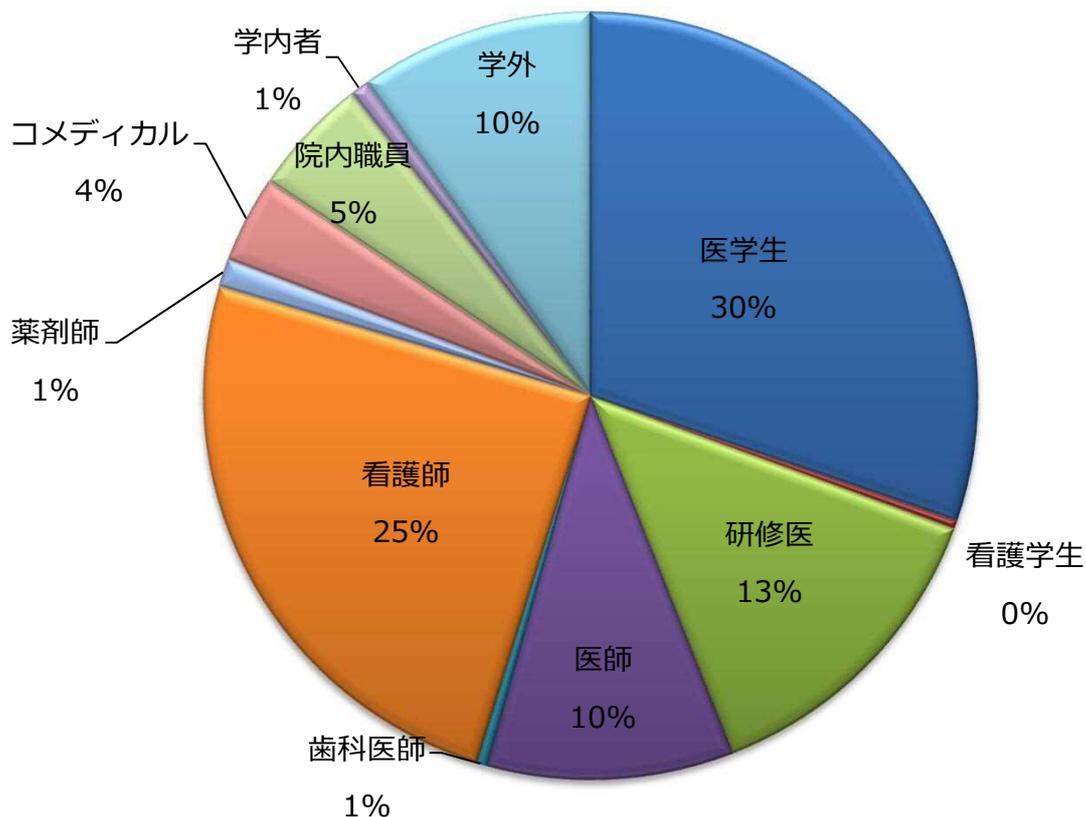
(10) シミュレーションセンター

1) 利用者数・職種別利用者数

①平成26年度シミュレーションセンター利用者一覧表

平成26年度	医学生	看護学生	研修医	医師	歯科医師	看護師	薬剤師	コメディカル	院内職員	学内者	学外	合計	組数
4月	36	0	133	47	1	2	0	0	12	0	0	231	18
5月	57	0	141	64	9	16	0	29	13	0	2	331	28
6月	197	0	88	41	2	108	9	2	21	0	94	562	68
7月	146	2	43	89	0	223	20	33	21	0	117	694	84
8月	31	0	72	32	0	99	16	24	9	0	31	315	45
9月	126	0	62	80	9	284	10	21	79	8	80	759	79
10月	279	0	52	80	0	208	5	18	35	26	53	756	73
11月	298	20	126	34	0	166	4	30	42	5	69	794	80
12月	313	0	14	19	0	110	2	2	25	4	30	519	65
1月	309	0	34	80	0	144	7	30	26	2	48	680	66
2月	163	0	98	81	0	188	2	17	28	5	33	615	71
3月	0	0	3	18	9	54	2	29	11	0	76	202	25
合計	1955	22	866	665	30	1602	77	235	322	50	633	6458	702

②平成26年度シミュレーションセンター利用者割合



2) 教育プログラム

シミュレーションセンター専任看護師と救命救急センター医師による、シミュレーション実習を対象者別に随時行っている講習会。

プログラムコース	対象者	期 間	開催回数	参加人数	延べ人数
急変対応シミュレーションコース	看護師	H26.6～10	5	16	81
シミュレータ指導者育成コース	看護師	H26.6～12	7	4	25
ショック対応シミュレーションコース	研修医	H26.12～ H27.1	2	16	35
心音トレーニング	院内職員	随時	5	26	
呼吸音トレーニング	院内職員	随時	6	23	
心電図トレーニング	院内職員	随時	3	11	
吸引トレーニング	院内職員	随時	1	2	
院内職員BLS研修	一般職員	毎週木曜日	33	223	

<ショック対応シミュレーションコース>

平成26年度初開催、ショック状態の患者に対応するためのシミュレーションコース。2日間の講義・実習を1コースとし8名の研修医を対象に開催した。初期研修医計16名がこのコースに参加した。



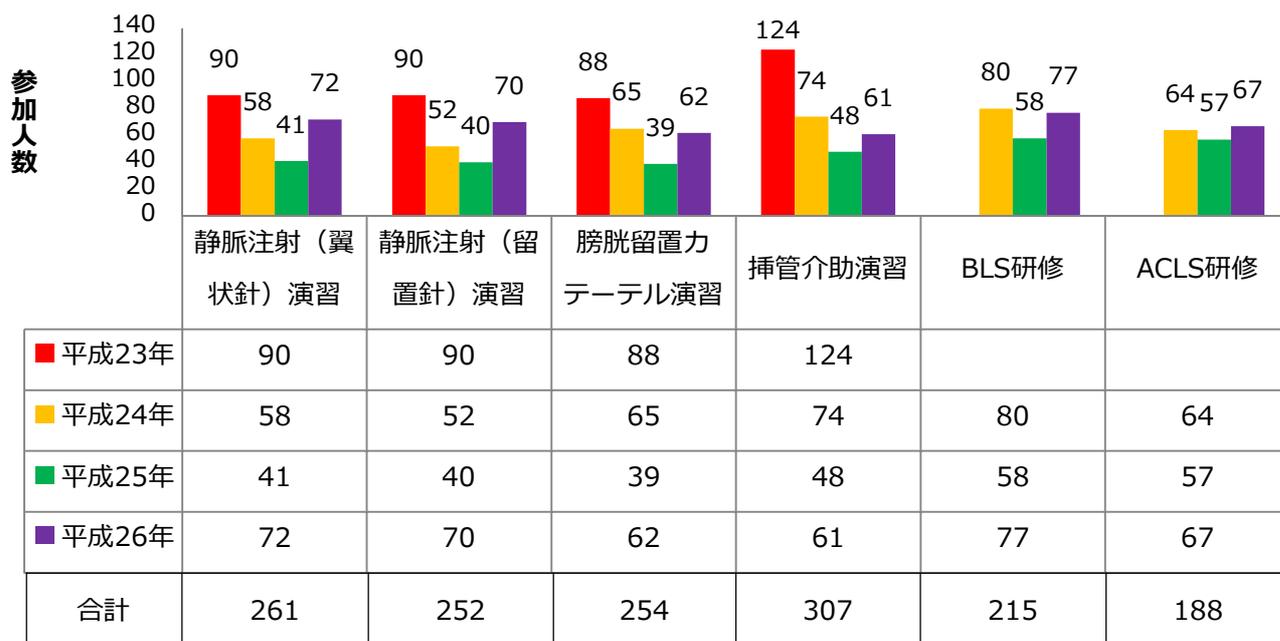
<一般職員のためのBLS講習>

本院で勤務する院内職員(技術職員・事務職員)を対象としたBLS講習会を毎週木曜日開催。計223名の参加があった。

	参加人数
平成22年	243名
平成23年	85名
平成24年	153名
平成25年	164名
平成26年	223名



看護部門講習



< B L S 研修 >

心肺蘇生法の基本を理解し、看護師としての役割を果たせるようになるために実施した。



< 挿管介助演習 >

気管挿管に関する解剖学的知識を得、演習を通して準備・介助の方法を学ぶ。今年度7回実施した。



< 膀胱留置力テーテル演習 >

演習により安全に実施するための知識・技術の習得を目的とし、今年度16回の演習を実施した。



< 静脈注射演習 >

安全に実施するための知識・技術の習得を目的とし、今年度翼状針、留置針合わせて29回の演習を実施した。



3) 新しく購入した物品

商品名	個数
DAM※シミュレータ トレーニングモデル	1
バックバルブマスク (小児用)	1
バックバルブマスク (新生児用)	1
心臓構造模型	1
浮腫触診モデル	1セット5種

※DAM : Difficult Airway Management

<DAMシミュレータ トレーニングモデル>

DAM講習に使用し、院内医員だけではなく長崎県内の若手麻酔科医師育成の為に講習会で使用している。



<DAMシミュレータ トレーニングモデル>

<バックバルブマスク小児用・乳幼児用>

小児、乳幼児の心肺蘇生の演習で使用するために購入した。

<心臓構造模型>

心音聴診シミュレーションコースなどの講習会で、心臓の構造を説明する目的で購入した。

<浮腫触診モデル>

フィジカルアセスメント講習会を始め、各講習会で使用する目的で購入した。



<バックバルブマスクと心臓構造模型>



<浮腫触診モデル>

(11) その他・地域貢献

1) キッズセミナー

平成26年8月11日(月)に「第6回キッズセミナー」を長崎大学医学部を会場とし開催した。このセミナーは長崎県の未来の医療人を育てるため、長崎大学附属小学校の5～6年生を対象に行った。



集合写真(増崎副病院長と参加者&スタッフ)



増崎副病院長挨拶



心臓と肺の音を聞いてみよう！
気管支鏡を体験しよう！



ケガの処置をしよう！



AEDを使った救命処置を
体験しよう！



手術の体験をしてみよう！



保護者シンポジウム

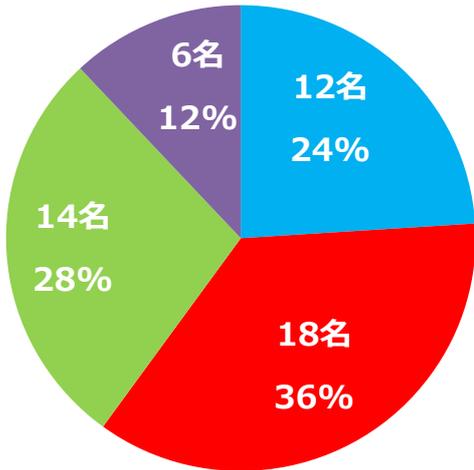
■ 過去の実績

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加人数	65	43	47	49	43	50

■ アンケート（参加者）

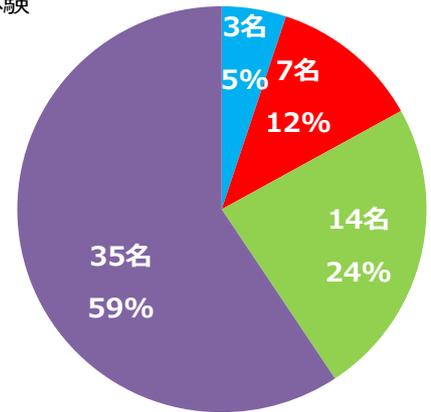
将来医師になりたいですか？

- 必ずなりたい
- できればなりたい
- どちらでもいい
- なりたくない



どの内容が一番面白かったですか？
（重複あり）

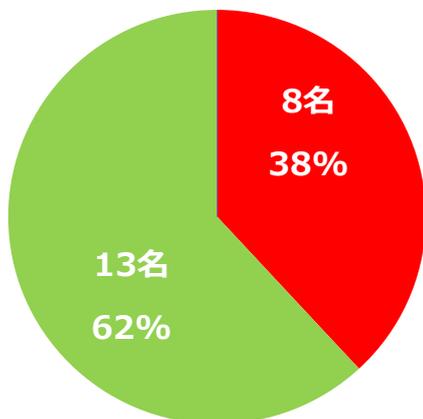
- A:体のしくみを調べて、心臓と肺の音を聞く
- B:骨折した時の応急処置
- C:AEDを使った救命処置
- D:手術の体験



■ アンケート（保護者）

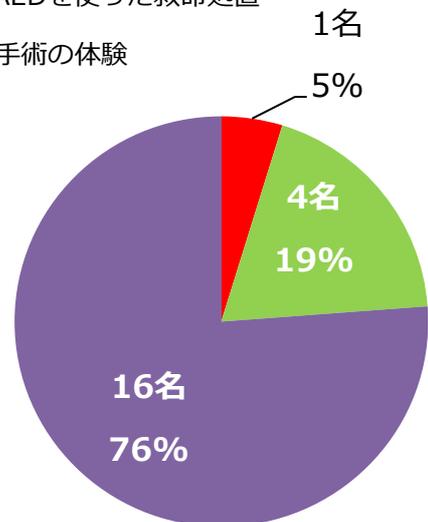
将来子供に医師になってほしいですか？

- 必ずならせたい
- できればならせたい
- どちらでもいい
- ならせたくない



一番面白かったブースは？

- A:体のしくみを調べて、心臓と肺の音を聞く
- B:骨折した時の応急処置
- C:AEDを使った救命処置
- D:手術の体験



平成26年度医療教育開発センタースタッフ

センター長		濱田 久之
副センター長		小出 優史
医科卒後研修部門	部門長	宮本 俊之
	後期臨床研修(医師育成キャリア支援室)室長	小畑 陽子
	後期臨床研修(医師育成キャリア支援室)副室長	松島 加代子
	助教(指導医)	原 信太郎
		古賀 智裕
		渡邊 毅
歯科教育研修部門	部門長	角 忠輝
	副部門長	久保 至誠
看護研修部門	部門長	貞方 三枝子
薬剤研修部門	部門長	北原 隆志
コメディカル等研修部門	部門長(副医療技術部長、臨床検査技師長)	南 惣一郎
救急医療教育室	部門長	長谷 敦子
事務		吉田 笑子
		梶山 善則
		只熊 千晶
		濱邊 珠津子
		稲田 文香
		森 美紀子
		仲野 智子
		馬場 絵里佳
花井 寿々子		